

公民館活動の新たなステージ

～社会の変化に即した活力ある地域づくり・人づくりの拠点を目指して～

第44回 全国公民館研究集会  
第57回 東海北陸公民館大会  
富山大会

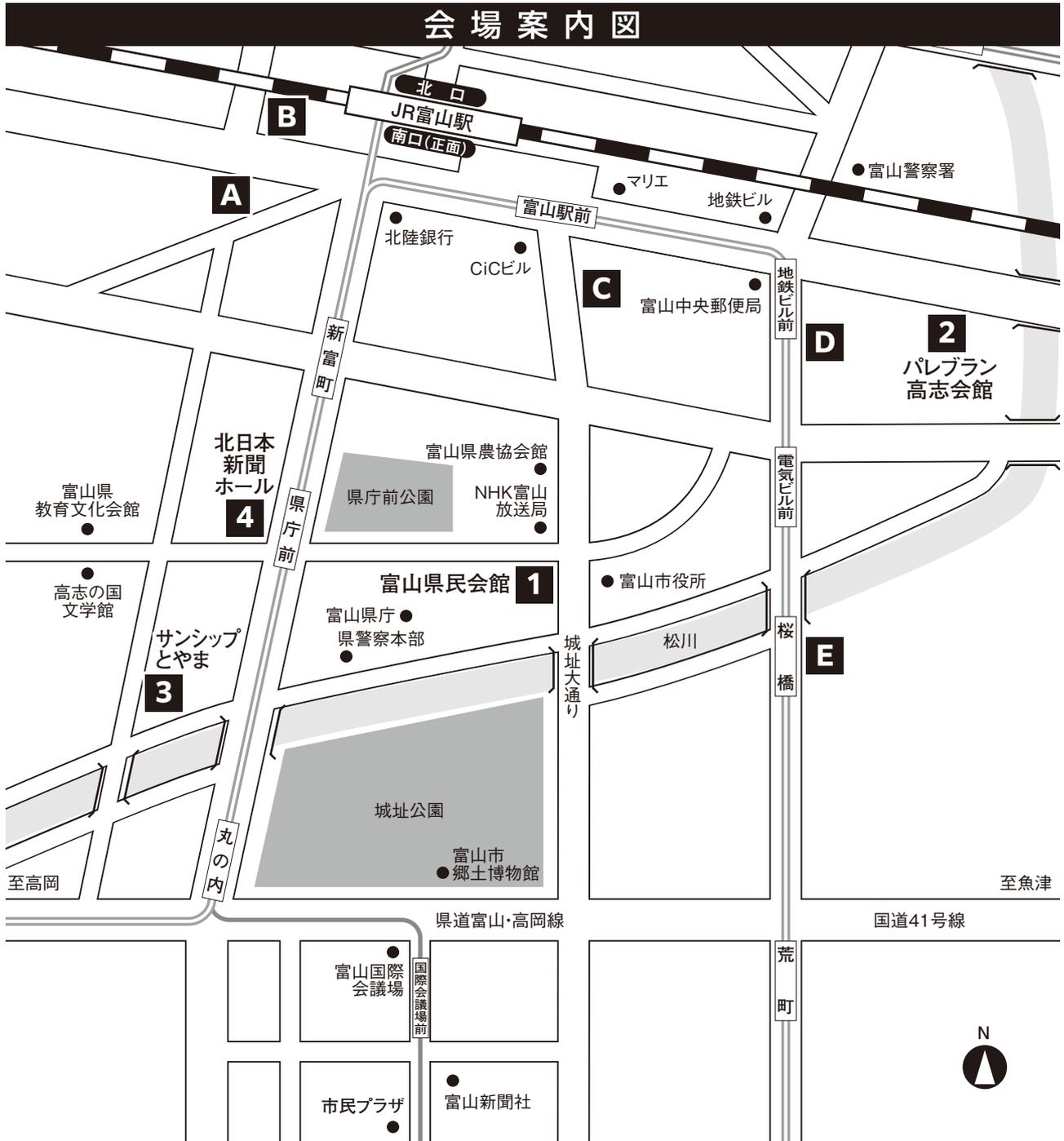
(第16回 富山県公民館大会)

と き／令和4年9月8日(木)・9日(金)

ところ／富山県民会館 他 3会場

公益社団法人 全国公民館連合会  
東海北陸公民館連合会  
富山県公民館連合会

# 会場案内図



## ◆全体会・分科会施設一覧

案内施設番号	施設名	住 所	会場名
<b>1</b>	富 山 県 民 会 館	〒930-0006 富山市新総曲輪4-18	全体会会場・第4・第5分科会会場
<b>2</b>	パレブラン高志会館	〒930-0018 富山市千歳町1-3-1	第1分科会
<b>3</b>	サンシップとやま	〒930-0094 富山市安住町5-21	第2分科会
<b>4</b>	北日本新聞ホール	〒930-0094 富山市安住町2-14	第3分科会

## ◆宿泊施設一覧

案内施設番号	ホテル名	住 所	電話番号
<b>A</b>	コンフォートホテル富山駅前	〒930-0007 富山市宝町1-3-2	076-433-6811
<b>B</b>	ホテルヴィスキオ富山	〒930-0001 富山市明輪町1-231	076-464-6639
<b>C</b>	アパヴィラホテル富山駅前	〒930-0003 富山市桜町1-5-20	076-431-3111
<b>D</b>	ホテルグランテラス富山	〒930-0004 富山市桜橋通り2-28	076-431-2211
<b>E</b>	富山マンテンホテル	〒930-0029 富山市本町2-17	076-439-0100

## 越中五箇山民謡

### 富山県立南砺平高等学校郷土芸能部

南砺平高校は、世界遺産の合掌造り集落があり、「民謡の宝庫」として知られる越中五箇山にある。全校生徒約80名の小規模校だが、郷土芸能部やスキー部をはじめ多くの生徒が全国の舞台で活躍している。地域に密着した学校で、全国的に珍しい小中高合同運動会は一大行事となっている。

郷土芸能部は平成元年に創部され、地元に残る「越中五箇山民謡」の継承と魅力発信を目的に活動している。全校生徒の約半数が所属しており、地元保存会の指導のもとで、踊りだけでなく、地方、唄い手、構成等の裏方まですべて生徒の手で行っている。

1曲目の「こきりこ」は、五穀豊穡を祈り、田楽として歌い継がれてきた日本で一番古い民謡といわれている。神聖な女性の「して踊り」と力強い男性の「ささら踊り」に注目だ。2曲目の「早麦屋」は、若い娘が農作業に励む様子を表現した軽快な踊りが特徴である。3曲目は「お小夜節」。加賀から流刑地の五箇山に流された遊女、お小夜の悲哀を偲んで歌い継がれてきた演目だ。4曲目の「麦屋節」は、雪深い山里に逃れてきた平家の落人たちが在りし日の栄華を偲び歌い踊り始めたと言われている。個性豊かな4曲の魅力を余すことなく伝える表現力には「超高校級」の定評がある。

また、毎年夏に行われる全国高等学校総合文化祭の常連校としても知られている。今年8月に開催された第46回全国高等学校総合文化祭（東京大会）では、8年ぶり3度目の日本一に輝き、入賞回数も全国一となっている。同月末に国立劇場で行われた優秀校東京公演にも11回目の出場を果たし、郷土芸能日本一の高校の名に恥じない素晴らしい舞台を披露した。

#### 《演目》

こきりこ  
早麦屋  
お小夜節  
麦屋節



## 目次

ごあいさつ	2
大会役員	3
開催要項	4
令和4年度全国公民館連合会表彰受賞者	6
第57回東海北陸公民館大会表彰受賞者	8
第16回富山県公民館大会表彰受賞者	11
文部科学省施策説明	12
記念講演	13
大会宣言文	15

## 分科会

分科会一覧	17
第1分科会 公民館等の管理・運営	19
第2分科会 地域づくりと公民館	21
第3分科会 家庭・学校・地域との連携	23
第4分科会 ポストコロナの公民館	25
第5分科会 新たな時代の公民館	27

次回 第58回岐阜大会のご案内	29
-----------------	----

## 資料

東海北陸公民館連合会各県連合会の概要	31
東海北陸公民館大会のあゆみ	33
東海北陸公民館連合会表彰受賞者一覧	37
東海北陸地区の文部科学大臣表彰受賞公民館一覧	40
東海北陸公民館連合会会則	45



## 新時代の公民館研究集会を！

公益社団法人全国公民館連合会  
東海北陸公民館連合会

会長 中西 彰

「第44回全国公民館研究集会・第57回東海北陸公民館大会富山大会」を開催するにあたり、ご挨拶申し上げます。

令和の時代を迎えましたが、ここ3年近くもコロナ対策に終始し、私たちにとっても公民館にとってもたいへんな試練が続いております。「集う」「結ぶ」ことを大切にしてきた公民館に安心して集えない状況が続き、コロナ対策の徹底など多くの対応に迫られました。こうした中、本連合会でも「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定しましたが、各公民館においても独自のガイドラインをつくり、それぞれのお立場でコロナ対策に努力をされてきたことと思います。

この全国研究集会も開催の可否や開催方法等、各ブロックの実情に応じて慎重に検討されてきました。ここ東海北陸ブロックでは、一昨年は延期を余儀なくされ、昨年は主催された福井県のみでの参集による大会でしたが、今年度は参加者の制限をせず、対面とオンラインのハイブリッドによる開催に踏み切りました。主催者としても感染予防に万全の対策を講じておりますが、ご参集の皆様におかれましても、格段の注意を払って行動していただくようお願いいたします。

さて、これまで地域住民や関係者の営々たる努力に支えられながら、高度経済成長、少子高齢化、行財政改革等の荒波を乗り越え、創意工夫によって充実した活動の実践に努めてきた公民館は、地域社会、ひいては日本社会の未来を切り拓くために、多くの関係機関や関係者と積極的に連携・協働して、新しい時代に合った地域づくり・人づくりを展開していかなければなりません。現下の新型コロナウイルスへの対応という事態においても、公民館が創意工夫によって新しい時代の公民館活動が展開されることを期待しております。

本大会が「新時代の公民館研究集会」の先駆けとなるよう、決意を新たにするとともに、参加した皆様が、ここで学んだ成果を活かして、公民館が地域の人びとの絆を結び、人びとのかけがえのない拠り所となることを願っております。

おわりに、文部科学省をはじめ、本大会開催のためにご尽力くださった公民館関係者及び関係機関・関係団体の皆様に感謝申し上げます。そして、本日お集まりの皆様のご今後の限りないご発展・ご活躍をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

# 大会役員

顧問	公益社団法人全国公民館連合会名誉会員	鹿熊久三
	公益社団法人全国公民館連合会名誉会員	石川正夫
大会長	公益社団法人全国公民館連合会会長 東海北陸公民館連合会会長（富山県公民館連合会会長）	中西彰
副大会長	東海北陸公民館連合会副会長（岐阜県公民館連合会会長）	三輪賢司
運営委員	岐阜県環境生活部環境生活政策課課長	山田浩司
	岐阜県公民館連合会事務局長	河口洋二郎
	石川県公民館連合会会長	竹上勉
	石川県教育委員会生涯学習課課長	岩木智子
	石川県公民館連合会事務局長	森田勝
	愛知県公民館連合会会長	高松透
	愛知県教育委員会生涯学習課課長	上野賢司
	愛知県公民館連合会事務局長	今井智樹
	福井県公民館連合会会長	中村准
	福井県教育委員会生涯学習・文化財課課長	中村忠嗣
	福井県公民館連合会事務局長	大久保容子
	富山県教育委員会生涯学習・文化財室室長	吉田学
	富山市教育委員会生涯学習課課長	高橋祐子
	富山県公民館連合会副会長	中村茂信
	富山県公民館連合会副会長	高井清高
	富山県公民館連合会副会長	大野聡一
富山県公民館連合会副会長	塚八栄治	
富山県公民館連合会副会長	岩坪智恵子	
事務局	富山県公民館連合会事務局長	本田正則
	富山県公民館連合会事務局員	木本聡子

# 開催要項

- 1 趣 旨** 近年、少子高齢化、情報化、グローバル化等、社会が目まぐるしく変化し、公民館をめぐる環境も大きく変化しています。地震、集中豪雨等自然災害の多発は、防災拠点としての公民館の存在意義の再認識をもたらし、人口減少、過疎化、市町村合併等が地域の在り方を大きく変えました。社会教育法の改正や中央教育審議会の議論に伴う制度的な変化が社会教育の現場に变革を求めています。そして、新型コロナウイルスによる感染症は大きな問題を引き起こしましたが、晴れてコロナがほぼ終息し、本来の活動を取り戻す際は、コロナ対応の中で編み出された様々な手法も取り込んでいこうというポストコロナを見据えた筋道をも追求する必要があります。
- 以上のような防災、人口減少、制度面での変革、コロナ対応等の視点が「公民館活動の新たなステージ」の課題として求められています。そして、これからの公民館には、これらの課題解決への取り組みを進めていくとともに、地域コミュニティの維持と持続的な発展を推進するセンター的役割が期待されています。
- ここに、東海北陸各県の公民館関係者をはじめ、社会教育・生涯学習関係者が一堂に集い、実践活動の紹介や研究討議を通して学びあい、様々な「つながり」を通じて結びあい、公民館活動の新たなステージへ共に歩を進めようとするものです。
- 2 大会主題** 公民館活動の新たなステージ  
～社会の変化に即した活力ある地域づくり・人づくりの拠点を目指して～
- 3 開催期日** 令和4年9月8日（木）・9日（金）
- 4 会 場** 第1日目：全体会 富山県民会館ホール  
第2日目：分科会 パレブラン高志会館カルチャーホール  
サンシップとやま福祉ホール  
北日本新聞ホール、富山県民会館（2会場）
- 5 開催方法** ・対面による通常開催とする。  
・大会参加申込者で、都合により会場に出かけられない場合、Zoomによるライブ配信を利用できます。  
第1日目：全体会 Zoomによるライブ配信（受信のみ可能）  
第2日目：分科会 Zoomによるライブ配信（質疑応答も可能）  
・コロナの状況により、開催方法を変更することがあります。
- 6 主 催** 公益社団法人全国公民館連合会、東海北陸公民館連合会、富山県公民館連合会  
**共 催** 富山県教育委員会、富山市教育委員会  
**後 援** 文部科学省、富山県、富山市、岐阜県教育委員会、石川県教育委員会  
福井県教育委員会、愛知県教育委員会、三重県教育委員会  
富山県市長会、富山県町村会、富山県市町村教育委員会連合会  
富山県社会教育委員連絡協議会、富山県教育会、北日本新聞社

- 7 参加者** 公民館職員、縣市町村教育委員、同社会教育委員、同社会教育行政職員  
公民館事業及び社会教育・生涯学習に係る団体等関係者  
学校教育関係者、地域づくり活動関係者、一般市民等
- 8 日程**
- 第1日：全体会 9月8日（木） 富山県民会館ホール**
- 12：00～13：00 受付
- 13：00～13：15 アトラクション 富山県立南砺平高等学校 郷土芸能部
- 13：20～14：10 開会行事  
開会のことば 富山県公民館連合会副会長 中村 茂信  
来賓紹介  
国歌斉唱  
主催者挨拶 公益社団法人全国公民館連合会会長  
東海北陸公民館連合会会長 中西 彰  
表彰式 全国公民館連合会表彰  
東海北陸公民館連合会表彰  
富山県公民館大会表彰  
祝辞 富山県知事 新田 八朗 様  
歓迎のことば 富山市長 藤井 裕久 様  
公民館の歌斉唱
- 14：10～14：50 文部科学省施策説明 文部科学省地域学習推進課  
課長 黄地 吉隆 氏
- 14：50～15：00 休憩
- 15：00～16：10 記念講演  
演題 「とやまの自然と文学」  
講師 富山県射水市大島絵本館 館長 立野 幸雄 氏
- 16：10～16：25 全体会閉会行事  
大会宣言 富山県公民館連合会副会長 大野 聡一  
大会旗引継ぎ  
次期開催県挨拶 岐阜県公民館連合会会長 三輪 賢司  
事務連絡 富山県公民館連合会事務局長 本田 正則  
全体会閉会のことば 富山県公民館連合会副会長 高井 清高
- 16：45～17：30 分科会打合せ 富山県民会館 611 号室
- 第2日：分科会 9月9日（金）**
- 第1分科会：パレブラン高志会館カルチャーホール  
第2分科会：サンシップとやま福祉ホール  
第3分科会：北日本新聞ホール  
第4分科会：富山県民会館 304 号室  
第5分科会：富山県民会館 401 号室
- 9：00～9：20 受付
- 9：20～12：20 発表・研究協議・まとめ

## 令和4年度全国公民館連合会表彰受賞者

### 優良職員表彰

県名	氏名	所属	職名
石川県	越田 智弘	金沢市野町公民館	館長
福井県	重野 けいこ	鯖江市新横江公民館	公民館主事
岐阜県	葛谷 とみ子	岐阜市長良公民館	公民館主事
愛知県	加藤 初恵	半田市立向山公民館	主事
富山県	永田 晋治	滑川市山加積地区公民館	館長

### 功労者表彰

県名	氏名	所属	職名
石川県	南 匡志	石川県公民館連合会	
福井県	江岸 徹	福井県公民館連合会	前会長
愛知県	廣中 達憲	愛知県公民館連合会	前会長

### 公連勤続職員表彰

県名	氏名	所属	職名
石川県	石江 政信	石川県公民館連合会	前事務局長

## 永年勤続表彰

県名	氏名	所属	職名
石川県	牧 嶋 玉 美	金沢市米丸公民館	主事
	田 村 昌 子	金沢市粟崎公民館	主事
	浦 島 孝 弘	金沢市戸板公民館	主事
	野 上 外貴江	金沢市崎浦公民館	主事補
	小 橋 和 代	輪島市立三井公民館	前主事
	新 出 直 美	珠洲市立直公民館	主事
	脇 田 恵美子	珠洲市立三崎公民館	主事
	河 畑 久 美	加賀市立東谷口公民館	事務職員
	出 島 ひとみ	白山市立河内公民館	主事
	領 家 廣 野	白山市立柏野公民館	主事
	徳 井 早 苗	野々市市押野公民館	主事
高 島 幸 子	内灘町立ハマナス公民館	主事	
福井県	加 藤 美由紀	大野市下庄公民館	公民館主事
	金 崎 千 鶴	坂井市春江中コミュニティセンター	コミュニティセンター主事
	堀 江 俊 子	永平寺町松岡公民館	館長
	勝 見 誓 司	若狭町三宅公民館	前館長
岐阜県	林 勝 己	岐阜市鷺山公民館	公民館長
	服 部 敦 子	郡上市中央公民館	公民館専任主事
	山 下 優 子	郡上市八幡公民館	公民館主事
	畑 佐 百合子	郡上市川合公民館・八幡第二公民館	公民館専任主事
	松 山 忠 樹	郡上市那比公民館	公民館主事
	長谷川 光 人	郡上市那留公民館	公民館館長
	足 立 由 美	瑞浪市釜戸公民館	総括主事
愛知県	平 井 めぐみ	田原市伊良湖市民館	市民館主事
	田 中 加代子	田原市和地市民館	市民館主事
	松 野 清 香	田原市堀切市民館	市民館主事
	中 神 富美代	田原市田原南部市民館	市民館主事
富山県	笹 岡 伊希子	富山市立福沢公民館	公民館主事
	山 本 みゆき	富山市立鶴坂公民館	公民館主事
	桶 谷 弘 美	富山市立浜黒崎公民館	公民館主事
	建 部 真 吾	朝日町立中央公民館	書記
	高 田 里 美	南砺市井口地域づくり協議会	地域指導員
	十文字 一 郎	上市町立白萩西部公民館	館長
	高 井 清 高	高岡市立成美公民館	館長
	高 木 由紀子	高岡市立成美公民館	事務員
	谷 保 修 二	高岡市立北般若公民館	館長
	定 田 真 弓	高岡市立定塚公民館	事務員
島 田 真 弓	高岡市立東五位公民館	事務員	

## 第57回東海北陸公民館大会表彰受賞者

### 石川県

笠 間 智

野々市市中央公民館 館長

平成25年度から野々市公民館長として、指導力を発揮し地域の各世代に対応した公民館事業を行なってきた。また、令和3年度からは中央公民館長として、市内4地区公民館を束ね、地域に根ざした公民館運営を行っている。

中央公民館事業においては、歴史や文化、現代の課題に対応したものなど多様な講座を市民に提供し、市民文化祭「マナビィフェスタ」事業では実行委員長を務めるなど、市の生涯学習の推進に多大な貢献をしている。

定 免 敏 彦

羽咋郡宝達志水町公民館 館長

平成28年から現在まで、宝達志水町公民館長として長年にわたり、公民館活動および生涯学習活動の推進に励んできた。地域住民に対して専門的な知識等を活用し、後進に指導・助言を行うなど、地域交流の発展に尽力した功績は顕著であり、熱心に取り組む姿勢は他の模範となっている。

### 福井県

北 島 喜 一

福井市和田公民館 館長

館長として、誰もが利用しやすい学びの場・交流の場を目指し、幅広い世代の地域住民と積極的に連携・協働して公民館事業を運営しており、平成29年3月の第69回優良公民館表彰における和田公民館の優秀館受賞にも大きく貢献した。

特に、福井学事業において、敬老会やふれあいまつり実行委員会との共催で「くちパク和いわい劇団」事業を実施している。世代間交流を図りながら、歴史や方言を学び地域文化を理解する機会を設け、地域コミュニティ活性化と郷土愛の醸成に寄与している。

八 田 真 澄

鯖江市中河公民館 公民館主事

29年の長きにわたり、公民館主事として、今日の社会問題に対応するため日々情報収集に努め、学習者の需要に応える生涯学習の推進を核とした公民館の円滑な運営に携わってきた。

平成31年度からは中河公民館において、「人づくり・まちづくり」を目的に、地域住民が参加・活動する場の提供と、地域の特色を十分に生かした各種事業の実施、各種団体との連携や指導育成を積極的に行っている。

明るく人当たりの良い性格から、地元住民の信頼も厚い。

## 岐阜県

馬 場 美佐緒

岐阜市徹明公民館 公民館主事

公民館主事として、地域住民のニーズに合わせた公民館講座や文化祭を通じ、住民が積極的に参加できる公民館行事を展開しているとともに、地域の社会教育の発展に努めている。

森 美 里

本巣市糸貫公民館 施設事務員

本巣市に合併後から引続き糸貫公民館の諸事業の推進にあたり、精神的に従事し、子ども会活動、公民館講座等の振興に尽力してきた。

また、公民館活動推進の中核的な存在として地域住民との調整はもちろんのこと、社会教育・社会体育活動の普及・振興に活躍し、現在に至っている。

## 愛知県

奥 谷 し ま

半田市立亀崎公民館 主事

平成 25 年 4 月 1 日から主事として、地域の社会教育活動推進のため、献身的に公民館事業の企画・運営に尽力した。被推薦者が勤務する半田市立亀崎公民館は、誰でも気軽に集える公民館を目指して活動しており、市民の参加意欲を高める独自の企画運営に努めていた。また、地域の商店や活動団体を講師とした講座を開催し、相互の交流を図るとともに、受講後のサークル発足についてサポートを行い、活動の継続を支えるなど、精力的な支援を行った。

## 富山県

馬 場 均

魚津市上野方公民館 館長

平成 16 年 4 月 1 日に上野方公民館主事に就任後、引き続き平成 19 年 4 月 1 日からは館長として公民館活動の推進・強化に尽くしてきた。

また、地域住民と一体となって各種団体の育成や地区運動会、文化祭、敬老会などの事業を円滑に遂行し、地域振興の発展にも積極的に取り組まれ、その功績は多大である。

曾 根 直 子

射水市片口コミュニティセンター 生涯学習推進委員

- 平成 27 年からコミュニティセンターの文化祭において保育園の楽器演奏、小学校の鼓笛演奏、中学校の吹奏楽部演奏を実施し、地域と学校（子ども達）の交流を開始。
- 平成 27 年度全国公民館セミナーに参加。
- 平成 28 年度金沢大学 社会教育主事講習に参加し全課程を終了。
- 平成 30 年度第 17 回日本公民館学会にて「片口コミュニティセンターにおける活動と課題」を発表。
- 平成 28 年度から「地域提案型事業（青少年健全育成）」を受け、有識者の講演や地域振興会の各種団体を連携させ子どもフェスティバルを企画、実行。
- 令和元年度より「とやまっ子さんさん広場事業」を受け、地域の子どもの安心できる居場所をつくる。
- 射水市生涯学習推進委員として、地域の住民に各種講座やコンサートを企画・実行。

## 第16回富山県公民館大会表彰受賞者

### 優良自治公民館表彰

市名	自治公民館名	館長名
高岡市	高岡市五福町縄手自治公民館	杉本 義彦 館長
高岡市	高岡市横越上自治公民館	成瀬 一朗 館長

### 永年勤続職員表彰（20年以上）

市名	氏名	所属	職名
富山市	平岡 春美	富山市立西田地方公民館	主事
富山市	谷井 千秋	富山市立寒江公民館	主事
魚津市	池田 澄子	魚津市本江公民館	指導員

### 永年勤続職員表彰（10年以上）

市町名	氏名	所属	職名
富山市	酒井 和恵	富山市立小羽公民館	主事
富山市	松井 さゆり	富山市立卯花公民館	主事
富山市	廣瀬 淳子	富山市立東部公民館	主事
富山市	林 晴美	富山市立草島公民館	主事
高岡市	河原 誠一	高岡市立大滝公民館	館長
高岡市	中山 光恵	高岡市立大滝公民館	指導員
高岡市	矢田 陽子	高岡市立野村公民館	事務員
射水市	橋本 孝雄	大江コミュニティセンター	センター長
射水市	小橋 秀次	大島コミュニティセンター	管理人
射水市	片岸 秋雄	大島コミュニティセンター	管理人
魚津市	木下 眞	魚津市本江公民館	館長
魚津市	石田 百代	魚津市上中島公民館	指導員
魚津市	本田 恵子	魚津市道下公民館	指導員
滑川市	花木 勲	滑川市山加積地区公民館	主事
滑川市	小林 昌樹	滑川市滑川東地区公民館	主事
滑川市	田口 稔	滑川市滑川東地区公民館	主事補
滑川市	吉江 香織	滑川市滑川東地区公民館	指導員
黒部市	谷口 政芳	黒部市立三日市公民館	館長
黒部市	柳田 紀子	黒部市立若栗公民館	館長
砺波市	岩田 伸弘	砺波市立青島公民館	主事
砺波市	荒川 美佐子	砺波市立梅檀野公民館	主事
南砺市	中田 まり子	南砺市いつついし自治会	事務員
立山町	有馬 信幸	立山町立下段公民館	館長
立山町	中川 聖子	立山町立新瀬戸公民館	主事補
入善町	泉 裕子	入善町上原公民館	主事補
入善町	笹原 健一	入善町青木公民館	主事







# 大会宣言文(案)

---

私たちは「公民館活動の新たなステージ～社会の変化に即した活力ある地域づくり・人づくりの拠点を目指して～」を大会テーマに、「第44回全国公民館研究集会、第57回東海北陸公民館大会富山大会、第16回富山県公民館大会」を開催しました。

本大会は、コロナ禍を含めた多くの変革の時代のなかで、あらためて公民館の使命を問い直し、身近な地域課題の解決を図る活動が地域の未来を創ることにつながることを学びました。

今、公民館に対する社会からの期待や要請は、複雑多岐にわたっています。これらに真摯に応えるためには、公民館の基本理念である「集う」と「学ぶ」、それらを通して「結ぶ」という機能の充実・強化が欠かせません。

これらを踏まえ、私たち全国公民館連合会・都道府県公民館連合会は、組織の存在感を高め、公民館活動に役立つ情報を積極的に発信します。そして、社会の要請に応えられるよう職員の力量を高める取り組みに一層努めます。

本日ここ富山の地で一堂に会した私達は、大会テーマのもと、「公民館等の管理・運営」、「地域づくりと公民館」、「家庭・学校・地域との連携」、「ポストコロナの公民館」、「新たな時代の公民館」を分科会テーマとして協議を深めるとともに、この大会を契機として、それぞれの「公民館力」を高め、地域の人々にとって公民館が無くてはならない存在となるようお願い、次のような公民館づくりを目指すことを宣言します。

1. 誰もがちょっと立ち寄ってみたいくなる、魅力ある公民館
2. 自己向上の願いが叶う、学びを大事にする公民館
3. 人づくり・地域づくりに貢献できる、リーダーが育つ公民館
4. 人の温かさと心配りがにじみ、地域の絆をつくる公民館

令和4年9月8日

第44回全国公民館研究集会

第57回東海北陸公民館大会富山大会

第16回富山県公民館大会

参加者一同

# 分科会

---

- |         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 第 1 分科会 | 公民館等の管理・運営<br>パレブラン高志会館カルチャーホール |
| 第 2 分科会 | 地域づくりと公民館<br>サンシップとやま福祉ホール      |
| 第 3 分科会 | 家庭・学校・地域との連携<br>北日本新聞ホール        |
| 第 4 分科会 | ポストコロナの公民館<br>富山県民会館 304 号室     |
| 第 5 分科会 | 新たな時代の公民館<br>富山県民会館 401 号室      |

# 分科会一覧

	分科会	主 題	協議の視点	助言者	司会者
1	公民館等の管理・運営	管理運営を巡る動きと公民館等の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい時代に即した公民館の管理体制</li> <li>○若い世代の参画を促す公民館運営</li> </ul>	富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門 副部門長 教授 藤田公仁子	岐阜県 瑞浪市中央公民館 館長 小栗 茂
2	地域づくりと公民館	地域コミュニティの拠点としての公民館の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の各種団体との連携</li> <li>○まちづくり・人づくりの拠点</li> </ul>	氷見市公民館 連絡協議会 副会長 河上 昌俊	富山県 富山市公民館 連絡協議会 副会長 堀江 庄一
3	家庭・学校・地域との連携	家庭・学校・地域との連携、協働を推進する公民館の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館を活用した交流活動</li> <li>○教育支援活動と地域の人材活用</li> </ul>	富山県教育委員会 生涯学習・文化財室 家庭成人教育班 班長 麦谷 理香	愛知県 知多市中部公民館 館長 平松 聖恵
4	ポストコロナの公民館	ポストコロナを見据えた公民館活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ウイズコロナでの公民館活動の工夫</li> <li>○ポストコロナでの学びの在り方</li> </ul>	全国公民館連合会 事務局次長 村上 英己	福井県 南越前町教育委員会 事務局 次長 白井 眞
5	新たな時代の公民館	災害の多発や人口減少時代の公民館の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の人々の命を守る公民館の在り方</li> <li>○人口減少時代の新しい地域づくりに向けた公民館の役割</li> </ul>	富山県民 生涯学習カレッジ 学長 菊池 政則	石川県 公民館連合会 副会長 稲荷 明彦

発 表 者		記 録 者		会 場
岐阜県 多治見市 根本交流センター 所長 塚本 景子	富山県 小矢部市公民館 連絡協議会 副会長 藤田 一彦	富山県 砺波市立青島公民館 主事 岩田 伸弘	富山県 砺波市立雄神公民館 主事 齊藤 次子	パレブラン高志会館 カルチャーホール
富山県 射水市金山 コミュニティセンター 生涯学習推進委員 松原 美砂	富山県 水見市阿尾公民館 館長 濱本 純雄	富山県 射水市生涯学習・ スポーツ課 主事 上田奈都美	富山県 水見市阿尾公民館 指導員 辻本 正樹	サンシップとやま 福祉ホール
愛知県 碧南市大浜公民館 館長 新美 勉	富山県 黒部市立村椿公民館 館長 岡島 茂	富山県 朝日町立 南保公民館 館長 谷口 宗次	富山県 入善町飯野公民館 館長 上島 俊晴	北日本新聞ホール
福井県 福井市清明公民館 館長 川口 英雄	富山県 富山市山室校下 自治振興会 事務職員 布施 智課	富山県 富山市生涯学習課 主事 石橋 遼太	富山県 富山市生涯学習課 主事 池田莉里花	富山県民会館 304号室
石川県 小松市公民館連合会 会長 中屋 幸夫	富山県 富山市立豊田公民館 館長 舛谷 友義	富山県 八尾教育行政センター 所長代理 吉田 華恵	富山県 婦中教育行政センター 係長 杉山奈央子	富山県民会館 401号室

# 第1分科会 公民館等の管理・運営

■助言者  
■司会者

富山大学地域連携推進機構生涯学習部門 副部門長 教授  
岐阜県瑞浪市中央公民館 館長

藤田 公仁子  
小栗 茂

## ともに学び、育ちあいのできる居場所づくり

岐阜県 多治見市根本交流センター 所長 塚本 景子

### 1 はじめに

- (1) 岐阜県東濃地方にある人口約10万7千人の多治見市。陶磁器やタイルなどの美濃焼の産地として発展し、平成19年に当時の国内最高気温（40.9度）を記録したことで知られる。
- (2) 市内9地区に市立公民館があり、うち2館は児童館との複合施設であることから「交流センター」と称している。
- (3) 自然豊かな根本地区は、JR根本駅、駅周辺に商業施設や教育機関があり、住む町として魅力的な地域である。平成25年4月に地域住民が待望した根本交流センターが供用を開始した。

### 2 取組に至る経緯

- (1) 公民館と児童館の機能に加え、市の地区事務所を併設した複合施設として開館し、公民館と児童館との一括運営を行っている。
- (2) 「公民館、児童館の機能を融合させて運営すること」、「あらゆる地域住民にとって価値のある施設であること」、「地域の活性化をリードする拠点施設であること」に心がける。
- (3) 公民館と児童館が持つ特徴や利点を生かすことによって、世代を超えた交流事業を促進し、「ともに学び、育ちあいのできる場所になること」を目指す。

### 3 事業内容

- (1) 多世代交流事業を通して根本地区を「活気のある住みやすい町」にする  
多世代が集いやすい交流センターにおいて、地域の子どもたちを核にした「笑顔あふれる交流会」を創っている。
  - ① 地域の総力を挙げて開催する「根本ふれあいフェスティバル」

- ② 三世代が集う三ツ星ファミリー事業「ねもとあったかクリスマス会」
- (2) 豊かな地域資源を活かした企画で「地域愛」を育む  
ふるさとを再発見する学習機会を企画し、地域に対する意識や愛着を育む役割を担う。
  - ① 三世代が豊かな自然を実感する「田んぼの鳥を見る会」
  - ② 地元のお寺に出かけて座禅体験「子ども坐禅会」
  - ③ 根本地域の文化を継承する「紙芝居づくり・普及活動」
- (3) ボランティア活動を通して「地域に居場所」をつくる  
地域の一員として主体的に活動する場、人と人との関わりを楽しむ機会を交流センターに創る。幅広い活動とボランティアの育成に力を入れている。
  - ① 遊びを通じた子どもたちの活躍「ねもとレインボー☆キッズ」「プレイリーダー」
  - ② 分野を生かした世代間交流「根本まちづくりプロジェクト」

### 4 今後の課題

- (1) アフターコロナを見据えた事業展開  
屋外活動の充実、オンラインの活用を行う一方で、サークル活動に対する支援を強化する。
- (2) 地域づくりのコーディネーター、地域の拠点施設としての役割  
地域が求めていることを見極めながら、世代を問わず気軽に立ち寄れる居場所、活気と笑顔にあふれた交流空間になることを推進する。

■記録者	富山県砺波市立青島公民館 主事	岩田 伸弘
	富山県砺波市立雄神公民館 主事	齊藤 次子
■運営責任者	富山県公民館連合会 理事	大沼 宗義
■会場責任者	富山県富山市立広田公民館 館長	牧野 正史

## 児童クラブと協力した事業運営

富山県 小矢部市公民館連絡協議会 副会長 藤田 一彦

### 1 はじめに

- (1) 東蟹谷公民館は、小矢部市西部の山麓付近に位置している。付近には高速道路のインターチェンジや国道 359 号線などが通っており、交通の便が良い。小・中学校が近辺にあり、学校帰りに寄って行く子供もいる。
- (2) 東蟹谷地区は416世帯、人口1,303人、うち65歳以上は515人で、高齢化率40%となっている。  
また、15歳から34歳までは202人であり、10年前と比較すると76人減少し、割合では約30%の減となっている。(令和4年1月1日現在)

### 2 取組に至る経緯

- (1) 地区の高齢化率が高まってきたことや公民館の利用者数が少ない状況が続いていた。
- (2) 平成14年に学校週5日制が施行され、子供たちを地域で育てる機運が高まったことをきっかけに、子供や親の若い世代を公民館に呼び込み、地域の活性化につなげられるよう、公民館と児童クラブが協力した事業を展開した。

### 3 事業内容

- (1) サマーキャンプ事業  
サマーキャンプは以前から児童クラブで行っていたが、熊の出没や親世代の多忙化、若者の減少などにより活動の続行が危ぶまれていた。そこで、安全性や利便性の観点から公民館と協力した活動として再出発した。1泊2日の日程で、公民館のグラウンドでテントを張ったり、講師を招いて親

子が天体観測や木工体験などを行ったりしている。事前の企画打ち合わせで児童クラブが活動計画案を提示、公民館と意見交換しながら内容を決めていく。現在ではほとんどの親子が参加する夏休みの一大イベントとなっている。

#### (2) 三世代交流会

公民館と地区社会福祉協議会が主催の「いきいき世代交流会」に、児童クラブなどが加わり、平成29年から「三世代交流会」を開催した。参加団体合同の企画会議では地区社会福祉協議会が基本となる案を作成、児童クラブと他の協力団体からの意見を参考にしながら内容を決定していくことにしている。子供からお年寄りまで協力してケーキや昼食を作ったり、軽体操やゲームなどを一緒に行ったりし、人と人がふれあい、思いやりをもって活動する良い機会となっている。

### 4 今後の課題

- (1) 若者やお世話をする方の減少は続いており、活動内容・方法の見直しが必要である。また、企画、運営に複数団体が加わるようにすることにより、負担の軽減やマンネリ状態の解決を図りたい。
- (2) 若者の意見交換の場を設け、SDGsを取り入れた学習講座、ドローンを活用した地域の魅力再発見など、若者が参加したくなる事業の展開やスマホを活用した情報連絡、新たなリーダーとなる人材の発掘につなげていきたい。

## 第2分科会 地域づくりと公民館

■助言者

富山県氷見市公民館連絡協議会 副会長

河上昌俊

■司会者

富山県富山市公民館連絡協議会 副会長

堀江庄一

### 様々な垣根をこえた対話の創造—地域課題の解決に向けて—

富山県 射水市金山コミュニティセンター 生涯学習推進委員 松原美砂

#### 1 はじめに

##### (1) 射水市金山地区の概要

金山地区は射水市南部の丘陵地に位置し、514世帯1,385人（R4.5.2現在）が暮らす。かつては鴨猟と松茸が有名だったが、猟師の高齢化や里山の荒廃により衰退しつつある。住民の多くは地区外で就労し、兼業で農業を営んでいる。人口減少は著しいが、移住世帯も少なからずある。

##### (2) 金山コミュニティセンターの現状と課題

地域振興会が運営し、生涯学習や地域活動の拠点である。地域振興会の目標である「元気で活気あふれる金山地域づくり」に向け、地域振興会や社会福祉協議会等と日頃より連携し、様々な事業に取り組んでいる。各団体の活動は活発だが、活動の中心を担う住民の高齢化と固定化が進んでいる。学生や子育てを終えた世代、移住者など地域との関わりが希薄な住民も多い。

#### 2 取組に至る経過

##### (1) 令和3年度富山県公民館活動研究委嘱事業の受嘱と研究委員の選定

事業受嘱を契機に、センター職員に加え地区内で役員や委員を務める40代・50代の男女、地域振興会や社会福祉協議会等との調整役、地区外に居住するファシリテーターが委員となった。

##### (2) 研究主題の決定

地域住民が地域の魅力を再発見するとともに、地域の課題を共有し、その解決に主体的に参加するきっかけを創造することをねらいとした。その際、世代、町内会、性別、職業、出身地などさまざまな垣根をこえた対話の場を創ることとし、表題を研究主題とした。

#### 3 事業内容

##### (1) ワークショップの開催 地域を活動拠点としている里山保全団体会員が多数参加

① Part1：未来を描く（R3.9）…金山の良さを探求し、金山の理想像を追求

② Part2：未来を創る（R3.11）…目指す金山のキャッチコピーを創り、個人の取組を決定

③ Part3：その後どうなった？さらにどうしよう？（R4.2）…個人の取組を紹介、周囲を巻き込むためのアイデア、応援する仕組みについて意見交換

##### (2) オンライン上の掲示板の活用 社会状況や個人的背景への配慮として

① 研究委員用 Padlet…備忘録や情報共有、意見交換

② 広報用 Padlet…住民や金山地区に関心のある人に向けて研究委嘱事業の情報発信

##### (3) その後の取組

Part3参加者の提案を受け、コミュニティセンター入口に地区住民が発信する情報掲示板を設置（R4.3）、想いをもつ住民の活動を応援するプラットフォームとして生涯学習サロン開催（R4.4）

#### 4 今後の課題

ファシリテーターによる中立的な進行により、当初のねらいを達成し目指す金山づくりに向けてスタートを切れた一方、参加者は限定的であった。住民の特徴である控えめさや包容力等を尊重しながら、対話に加わる仕掛けと継続のための仕組みを作ること、この成果をこれまでの活動に波及させ住民同士、団体間のつながりを更に広げ深めることなどが課題である。

**■記録者** 富山県射水市生涯学習・スポーツ課 主事  
 富山県氷見市中央公民館 主事  
**■運営責任者** 富山県公民館連合会 理事  
**■会場責任者** 富山市立浜黒崎公民館 館長

上田 奈都美  
 鈴木 瑞磨  
 岡本 昭彦  
 五十嵐 邦彦

## 持続可能な公民館活動の在り方

富山県 氷見市阿尾公民館 館長 濱本 純雄

### 1 はじめに

氷見市は、「世界一美しい湾クラブ」に加盟する富山湾に面しており、冬から春にかけての空気が澄み渡る晴れた日には、標高3000m級の山々が連なる雄大な立山連峰を望むことができる。また、定置網発祥の地の一つであり、その網で獲れる寒ぶりは全国ブランドとして有名である。さらに、物販・飲食施設「ひみ番屋街」には、年間124万人が訪れている。

歴史面では、全長107mの柳田布尾山古墳、国内初の洞窟遺跡の大境洞窟住居跡、日本海側有数の貝塚朝日貝塚等の国指定の史跡がある。万葉集の歌人大伴家持の歌碑も点在する。

### 2 取組に至る経過

- (1) 計画立案…地域の現状を踏まえ、住民のニーズを探り、魅力ある事業を企画する。
- (2) 予算確保…予算を概算し、市の助成制度を活用するとともに不足分を公民館が補完する。
- (3) 人の確保…事業の目的に合わせて関係機関へ協力を依頼し、参加者を募集する。
- (4) 反省考察…事業終了時に参加者の意見を集約し、次年度の計画に生かす。

### 3 事業内容

- (1) 公民館の主な事業内容
  - ① 公民館講座（10講座）…生け花・かな書道・学童茶道・手芸・フラダンス・新舞踊等
  - ② 公民館行事（3つ主催・4つ共催）…公民館祭、親子りんご狩り、歩こう会、料理教室等
- (2) 「よくばりウォーキング」の名称の変遷と各種団体等との関連
  - ・平成19～20年度は、「交通安全わくわくウォークラリー」…交通安全協会との連携

- ・平成21～22年度は、「わくわくウォークラリー」…健康づくりボランティアの協力
- ・平成23年度は、「交通安全ウォーキング」…食改が新たに協力
- ・平成24年～現在までは、「よくばりウォーキング」…市健康課との連携

### (3) 行事の成果と地域コミュニティとしての公民館の役割

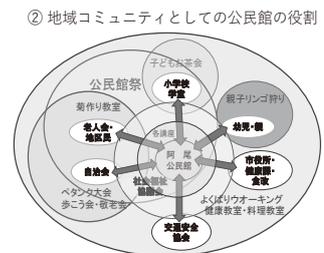
#### ① 公民館行事の成果

- ・同じ目当てをもって活動することで、協力関係が構築され仲間意識が醸成された。
- ・地域の魅力を確認することで、郷土愛が深まった。

#### ② 地域コミュニティとしての公民館の役割

自治会や地区民等と関わり

のある事業は、「歩こう会」・「公民館祭」、子供や親は、「お茶会」・「りんご狩り」、食改や交通安全協会は「よくばりウォーキング」等と関わっている。上記の事業等を通して、公民館は諸団体や講座等との架け橋となっている。



### 4 今後の課題

- (1) 活動のネタが尽き、マンネリ化する。地域愛を育てる活動の工夫が必要である。
- (2) 活動を支える人材が高齢化している。新たな人材の発掘が急務である。
- (3) 事業にはある程度の人数が必要である。地域の人等との人脈づくりが大切となる。

## 第3分科会 家庭・学校・地域との連携

■助言者

富山県教育委員会生涯学習・文化財室 家庭成人教育班 班長

麦谷理香

■司会者

愛知県知多市中部公民館 館長

平松聖恵

### 家庭・学校・地域との連携、協働を推進する公民館の在り方

愛知県 碧南市大浜公民館 館長 新美 勉

#### 1 はじめに

碧南市は、県庁所在地の名古屋市から40キロメートル圏内に位置している。北は油ヶ淵、東は矢作川、西・南は衣浦港と、周囲を水に囲まれ、地形的には標高約10メートル強の碧海台地と矢作川沖積地からなる平坦地である。昭和23年に、新川・大浜・棚尾・旭の4か町村が合併し、愛知県で第10番目の市となった。そして、昭和30年には明治村大字西端を合併した。昭和32年に衣浦港が重要港湾の指定を受けてからは、臨海工業地域としてめざましい発展を続けている。温暖な気候と風土に恵まれ、窯業、鋳物、醸造等の伝統産業と近代的な輸送用機器関連産業等がバランスよく存在し、さらには、商業、農業、漁業とも調和のとれた産業構造となっている。

#### 2 取組に至る経緯

##### (1) 教育支援活動と地域の人材活動

市内には、7つの小学校区ごとに公民館が設置されている。地区ごとに公民館が事務局となり、委員会を設置し、青少年育成推進活動を行ってきた。委員会では、町内会長や小中学校長、各PTA代表、子ども会代表等がメンバーとなっている。

##### (2) 公民館を活用した交流活動

趣味の文化系や運動系のサークルが複数あったが、高齢化等により、利用の回数が減ってきている。

#### 3 事業内容

##### (1) 教育支援活動と地域の人材活動

当地区の青少年育成推進活動では、地元の小学生を対象に、また地元中学生にはボランティアとして餅つきやうどんづくり、クリスマス会等に参加してもらい、子供同士の交流、大人との交流の場を提供している。活動をする委員会にはさまざまな立場の方に参加いただき、前述の事業等でも活動の場となっている。

##### (2) 公民館を活用した交流活動

公民館では、季節ごとに文化教室を開催している。テーマは、人気のあるものや新しいものを選んで進めてきた。結果、文化教室の終了後は、愛好者のサークルができ、公民館を引き続き利用いただいている。

#### 4 今後の課題

##### (1) 教育支援活動と地域の人材活動

青少年育成活動はコロナ禍で、特に食品関係の事業が多かったことから活動ができなかった。そのため、今年度より外で行う事業を中心に変更した。新たな事業での効果や人材の関わりを検証する必要があると感じている。

##### (2) 公民館を活用した交流活動

今後も受講生に人気のありそうなテーマの教室を開講し、サークル活動等への発展が見込まれる活動を進める必要があると考えている。

■記録者	富山県朝日町立南保公民館 館長
	富山県入善町飯野公民館 館長
■運営責任者	富山県公民館連合会 理事
■会場責任者	富山県富山市立堀川公民館 館長

谷 口 宗 次
上 島 俊 晴
谷 口 政 芳
吉 村 正 一

## 家庭・学校・地域を結ぶ活動を目指して

富山県 黒部市立村椿公民館 館長 岡 島 茂

### 1 はじめに

#### (1) 地域沿革の概要

黒部市は富山県東部に位置し、日本海に面しています。人口約4万人で製造業を中心とする第2次産業が盛んであり、世界に冠たる技術を有しています。

また、北アルプスからの豊かな水と美しい風景に恵まれ、農業・漁業も盛んに行われており、村椿公民館のある村椿地区は、美しい黒部川に隣接し、YKK（株）本社黒部工場を取り囲むように7つの町内会があります。その中でも、荒俣海岸や豊富な湧き水など自然環境にも恵まれており、人口2,745人、世帯数980世帯（令和4年7月現在）の産業と自然が共生した活力ある地区です。

### 2 取組に至る経過

#### (1) 背景

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、公民館の関係各行事の中止が続き、地域住民とのふれあいの場がなくなりつつある中、七夕飾りを通じて少しでもみなさんに笑顔を取り戻してほしいという願いを込めました。

#### (2) 学校と地域が連携して行える事業を企画

将来を担う子供たちが郷土の良さを再認識する取り組みとして、みそ作りを実施。

ふるさと教育はもちろん、学校と地域が連携し、世代間交流と親睦を深めることができました。

### 3 事業内容

- (1) あいの風とやま鉄道 生地駅いくじに七夕を飾る  
「村椿小学校のみんなの思いを届けよう」

- 子ども教室を開催し、学童のみなさんに七夕飾り作りに参加してもらいました。また、村椿小学校全児童、教職員の皆さんに短冊を配り、願いを書いてもらいました。七夕飾りをあいの風とやま鉄道「生地駅」に展示し、駅利用者も願いが書けるコーナーを設けました。コーナーを設けることで、伝統行事を通して人と人とのつながりを感じることができました。

#### (2) みその作り方や手順を地域の方から習う

「日本の食文化に触れ、世代間交流と地域の活性化を」

- 村椿地区で収穫された米と大豆を用意し、地産地消で自前みそを作る企画で、まず、栽培に関わる地域の方々の思いを受け郷土の良さを再認識し、みそができるまでの工程を学びました。その後、学校から児童が地域の農家へ出向く、地域の方が学校へ出向き出前講座を行う、児童が公民館で地域の方とみそ作りを行うなど、学校と地域とが連携することで内容の充実が図れました。

### 4 今後の課題

- (1) 多くの人に参加してもらいやすい工夫や、地域が活性化する事業に発展させるための改善。
- (2) 今後の取組みとして、みそ作りの工程は日数を要することや、時間をかけなければならないため、それに携わる人員の確保が大切である。それに伴い、参加者と指導者のみそ作りへの熱意を引き出しながら、いかに事業の充実を図っていくか。

## 第4分科会 ポストコロナの公民館

■助言者

全国公民館連合会 事務局次長

村上英己

■司会者

福井県南越前町教育委員会事務局 次長

白井眞

### ポストコロナを見据えた公民館活動

福井県 福井市清明公民館 館長 川口英雄

#### 1 福井市清明地区の概要

当地区は、JR 福井駅から約 5km の福井市南部に位置し、人口 8,000 人、世帯数 3,000 世帯、自治会数 17 自治会で構成され、地区内には小学校が 1 校（児童数 500 人）ある。また住宅地や団地のほか、中小の企業・店舗、さらに大型商業施設もあるが、東に旧北陸街道、西に城山（登山道あり。標高 202m）に囲まれ、自然環境豊かな地域でもある。

#### 2 取り組みの経緯

当地区では、少年教育事業において子どもの主体性、自主性、創造性を育むための活動を進めてきた。環境事業では、地域の環境課題の一つとして「資源循環型社会」を取り上げ、5 カ年で地区の団体を協働させ事業に取り組んできた。さらに、令和 2 年に「ふくいSDGs パートナー」として登録し、地区の自治会、企業、団体と連携を進めている。

#### 3 事業内容

##### (1) 子ども議会『夢王国』の発足

事業実施にあたり、小学 4、5 年生を対象に朗読劇をする小学生を募集したところ、4～5 人の応募があった。そこにギターを弾いて歌っている少年も仲間に加わって演奏を始め、自分たちでバンドを結成した。名称を『夢王国』とし、年間を通して自分たちで企画を行い、現在は日本全国 21 の公民館とオンラインで交流もしている。

##### (2) 『夢ファーム会』による資源循環型社会づくり（生ゴミ削減と環境への意識高揚）

初年度は勉強会から始め、コンポストによる生ゴミの処理方法を学習した。さらに自宅・公民館で一次発酵、畑で二次発酵を行い、野菜づくりに

利用し、毎週火・木・土には公民館前で市民へ安価で販売や試食会も実施した。小学生は 1 年を通して大人と一緒に体験し、発表会も行うなど環境課題に取り組んでいる。また、令和 2 年に福井市から「資源循環型社会」のモデル地区に指定され、生ゴミ処理機を導入した。

##### (3) SDGs の発信（持続可能な社会への意識の向上）

「ふくいSDGs パートナー」に登録し、地域や他の公民館と連携しながら商業施設で公民館の展示発表を 3 ヶ月間行った。さらに令和 4 年度には、福井市で初めて商業施設と近隣の公民館 3 館で SDGs の協定を調印した。今後は共通の課題を決めて継続的に実施し、その成果を踏まえて持続可能な社会づくりの大切さを多くの市民に発信していく。

#### 4 今後の課題とまとめ

公民館の原点は、寺中作雄氏の描いたイラストにあるように、地域の方々が公民館に集い、知の循環をして地域の課題解決に努力することである。

これからの社会を見通した時、次の 2 点が重要になってくると考えている。一つは在留外国人との共生社会づくりである。現在当地区にも多くの外国籍の方が暮らしているが、9 年前に「国際交流クラブ」を立ち上げ、外国の方が安心して公民館に来館できるよう努力している。二つ目は、ノーマライゼーションが普及し、障がいのある人の社会参加が当たり前になってきている中で、全ての住民が共に活動できる企画や公民館の安全設備を整えていくことが求められる。今後も事業内容で紹介した活動を、住民（子ども）参加型の形式で継続して進めていく。

■記録者	富山県富山市生涯学習課 主事	石橋 遼 太
	富山県富山市生涯学習課 主事	池田 莉里花
■運営責任者	富山県公民館連合会 理事	山口 吉 弘
■会場責任者	富山県富山市立光陽公民館 館長	高野 博 之

## ウィズコロナからポストコロナに向けての新しい公民館活動

富山県 富山市山室校下自治振興会 事務職員 布施 智 課

### 1 はじめに

#### (1) 富山市山室地区について

雄大な立山連峰が大空に映える、自然豊かな富山市。その中心市街地から3kmほど東に位置する山室は、5,700世帯、人口11,000人の商業エリアと住宅エリアが混在する地区である。

地区内には、市立公民館が1館、町内会が運営する自治公民館が17館あり、各館が工夫をしながら公民館活動に取り組んでいる。

#### 2 取り組みに至る経緯

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大（コロナ禍）により、私たちを取り巻く環境が大きく変わった。

(2) 公民館を中心とする地域コミュニティ活動が制限される中、地域住民とのつながり（学びふれあい結び合いの場）をどのように構築していくのか。

これまで培ってきた山室の地域力を活かして、ウィズコロナ・ポストコロナに向けての新しい公民館活動にチャレンジした。

#### 3 事業内容

##### ○コンセプト

— コロナ禍でもポジティブな考え方 —

できないことより 今、できること を大切にしながら取り組もう

(1) ウィズコロナ1年目 コロナ禍であっても学びの場を守りたい

① 安心安全な活動…会場・人数・講座のスタイルを工夫

② 心に優しい活動…コロナの不安を和らげて思わず笑顔になれるように

③ 同じ目標をもって活動…活動のスタイルは違っても想いは一つ

やまむろ エールプロジェクト（800枚のエールメッセージが心をつなぐ）

コロナ禍での『感謝』と『応援』の気持ちを共有

(2) ウィズコロナ2年目 地域の宝（人・想い・モノ）を集結した活動

みんなでつながろうプロジェクト（手作りキャンドルと幸せ感じるグータッチ写真）

離れていても、みんなの心がつながっていることを実感

(3) ポストコロナを見据えながらの3年目

① コロナ前の事業をポストコロナ仕様へと見直し

② コロナ禍での2年間の活動をベースにした新たな学習の模索（防災・SDGsなど）

#### 4 今後の課題

コロナ禍によって、あらためて実感した『みんなの居場所』としての公民館活動

それを継続していくための運営人材の育成と地域ニーズのさらなる掘り起こし

# 第5分科会 新たな時代の公民館

■助言者 富山県民生涯学習カレッジ 学長  
■司会者 石川県公民館連合会 副会長

菊池政則  
稲荷明彦

## 地域活性化事業とふるさと再発見

石川県 小松市公民館連合会 会長 中屋幸夫

### 1 はじめに

小松市は、石川県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央に位置し、産業都市として発展し、南加賀の中核を担っています。人口約10万人、霊峰白山を東に望み市内より車で10分ほどで小松空港や北陸高速道路が利用できます。2年後には北陸新幹線が金沢～敦賀間が開通し小松にも止まります。

### 2 人口減少時代の新しい地域づくりに向けた公民館の役割（地域の魅力は地域から）

小松市も地方都市の一つです。住民の流出により空き家も増え、お年寄りの人口割合が3割を超えつつある地域が増えています。また、追い打ちを掛けるように2年前から世界中に広まったコロナ禍のため、地域住民の親睦や繋がりさえも制限されました。

そんな現状の中、今できる公民館活動とは何か…!! 地域住民が誇れる魅力ある街づくりができないか…!! 試行錯誤の末、地域の風景や伝統・文化を見つけ出し、ドローンによる空撮やビデオ撮影で動画を作成し、自分たちの地域の魅力を全国にむけて発信することにしました。

### 3 地域の景勝地や伝統・文化の映像を全国へ配信

ドローンでの空撮は、ラジコン飛行機操縦のマニアにお願いし、ビデオ撮影と動画編集は自分たちで…、今も四苦八苦しながら作業しています。

また、話題性もあり地方紙にも掲載されました。

- 耕作放棄地などの遊休地を活用し、地域の観光スポットとして取り組んでいる映像
  - ・瀬領町“ひまわりの丘”（R2.8）
  - ・津波倉町“秋桜”（R3.10）など
- 地域の伝統・文化を継承している映像
  - ・“ひまわりの丘と瀬領町”（R3.9）
  - ・赤瀬町“荒俣峡と那殿観音”（R3.12）など

- 地域の皆さんが維持管理され守っている自然や景勝地の映像

- ・春の里山、松岡町“智恵子桜”（R3.4）
- ・春の里山“布橋の水芭蕉”（R3.4）など



（『地域の魅力地域から』のチラシ）

### 4 まとめ

ドローンやビデオを使っただけの映像の動画配信『ふるさと再発見、地域活性化事業』に取り組んで3年目を迎えます。今までは主に事務局で題材を選びながら行っていましたが、今年度から地域活性化事業専門委員会を発足しました。また、チラシ『地域の魅力は地域から』を作成し、公民館を通して各町内会にも配布、地域からの要望を取り入れながら今取り組んでいます。

### 5 終わり

これからも地域の魅力をたくさん見つけ出し、様々な目線での映像を撮り、発信し続けて活性化につなげていきたいと思っています。また、いろいろな映像を残すことが、地域の財産となっていくたら素晴らしいことだと思います。

■記録者	富山県富山市八尾教育行政センター 所長代理	吉田 華 恵
	富山県富山市婦中教育センター 係長	杉山 奈央子
■運営責任者	富山県公民館連合会 副会長	大野 聡 一
■会場責任者	富山県富山市立大沢野公民館 参事・館長	中村 忠 成

## 地域防災における公民館の役割

富山県 富山市立豊田公民館 館長 舛谷 友 義

### 1 はじめに

#### (1) 豊田校下について

豊田校下は、富山駅の北約 3.5km に位置する北部地域で、豊田の名前のおり昔は豊かな田園地帯でした。現在、世帯数 6,610、人口 15,428 人と市内で 2 番目に多く、29 町内からなっている。南北に県道が 2 本、東西に国道 8 号線が通っている他、旧 JR 北陸本線である「あいの風とやま鉄道」、旧富山ライトレールである「富山地方鉄道富山港線」が走り、今年 3 月にはあいの風とやま鉄道の新駅「新富山口駅」が新たに開業するなど交通の要所として発展している。

#### (2) 豊田公民館について

現豊田公民館は、平成 29 年 10 月旧豊田小学校跡地に新築、公民館内には市立図書館の分館があり、隣接して「とよた保育園」が建っている。

### 2 取組に至る経緯

当校下の西側は海拔が低いいため想定浸水範囲が広く、神通川と全国でも有数の急流、常願寺川の一級河川に挟まれ、過去には豪雨等による河川の氾濫で甚大な被害を及ぼした記録が残されている。

また、真下を活断層が走っており、これが活動すると震度 7 クラスの激しい揺れが予測され、建物の倒壊、ライフライン等の損壊による住民の命と暮らしが憂慮される。

これを踏まえ、「自分たちの地域は自分たちで守ろう」を合言葉に自治振興会長を座長に防災会議もち、平成 31 年 3 月 15 日、豊田地区自主防災会を結成、併せて避難所運営マニュアルを盛り込んだ防災計画書を策定、これを受けて各町内会は自主防災組

織を結成し今日に至っている。

### 3 事業内容

#### (1) 防災・避難訓練

① 令和元年 10 月、防災計画書に基づき住民の避難、安否確認、応急手当等の総合訓練を実施、これに 462 人が参加した。

② 令和 3 年豊田公民館に於いて次のことを実施した。

6 月 大雨による「警報レベル 3」発令に伴う初動連絡・活動机上訓練、炊き出しの訓練

8 月 避難所での災害弱者への対応の仕方と介護者の心構えの講座  
・講師 介護支援専門員、理学療法士

10 月 防災資機材（ダンボールベッド、非常用発電機、簡易トイレ、ワンタッチテント等）の展示、組立、取扱い訓練

③ 令和 4 年

6 月 富山県消防学校に隣接する「四季防災館」において、自主防災組織隊長を対象に防災体験（地震・消火・煙体験等）講座実施

10 月 秋の火災予防運動の一環として、富山市消防局と自主防災会との合同訓練を実施予定

### 4 今後の課題

近年全国各地で自然災害が多発しているが、富山県全体が災害の少ない県であり、災害を他人事と思っている市民がいまだに多い。いかに危機意識を高めていくかが課題である。

# 第 45 回全国公民館研究集会 第 58 回東海北陸公民館大会（岐阜大会） 第 15 回岐阜県社会教育推進大会

■開催期日 令和5年 10月 20日（金）

※1日開催、オンライン併催（オンデマンド配信も検討）

■会 場 岐阜県の施設（岐阜市またはその近隣）

※現在調整中

■日 程

9:45	10:30	11:10	12:10	12:30 13:30	15:40
受付	開会行事 全体会 表彰式 等	記念講演	閉会行事 大会旗引継ぎ 次年度開催県挨拶 等	昼食 休憩	分科会

■そ の 他 参加費（大会資料代等）3,000 円

※以上、「案」の段階です。

※詳細は後日改めてご案内申し上げます。

# 東海北陸公民館連合会

## 各県公連の概要・あゆみ

---

- 1 東海北陸公民館連合会 各県連合会の概要
- 2 東海北陸公民館大会のあゆみ〔略年表〕
- 3 東海北陸公民館大会表彰受賞者一覧
- 4 東海北陸地区の文部科学大臣表彰受賞公民館一覧
- 5 東海北陸公民館連合会 会則

# 東海北陸公民館連合会 各県連合会の概要

## 岐阜県公民館連合会

### 所在地

〒 500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12  
岐阜県シンクタンク庁舎内  
TEL (058) 278-0133 FAX (058) 278-0136  
E-mail : gisyakyo@estate.ocn.ne.jp  
会 長 三輪 賢司  
副 会 長 若宮 圭輔 室崎多恵子  
事 務 局 長 河口洋二郎  
事 務 局 員 保城 由美

### 概 要

- 1 発足年月日 昭和 37 年 4 月 2 日
- 2 予算総額 3,064,150 円
- 3 県内公民館数 270 館
- 4 特色ある事業
  - ① 岐阜県社会教育推進大会  
(社会教育委員との合同事業)
  - ② 岐阜県公民館優良職員表彰
  - ③ 岐阜県公民館名簿
  - ④ 機関紙「ぎふ公民館」発行

## 石川県公民館連合会

### 所在地

〒 921-8105 金沢市平和町 1-3-1  
石川県平和町庁舎内  
TEL (076) 245-6580 FAX (076) 245-6584  
E-mail : ishikouren@bz01.plala.or.jp  
会 長 竹上 勉  
副 会 長 中屋 幸夫 稲荷 明彦  
中山 謙司  
事 務 局 長 森田 勝  
事 務 局 員 大橋香奈恵

### 概 要

- 1 発足年月日 昭和 24 年 4 月 1 日
- 2 予算総額 7,300,000 円
- 3 県内公民館数 312 館
- 4 特色ある事業
  - ① 石川県公民館大会
  - ② 石川県公民館連合会表彰  
(館長表彰・職員表彰)
  - ③ 公民館職員研修 (館長・主事)  
[基礎・専門コース]
  - ④ 石川県市町公民館長研修会
  - ⑤ 広報紙『公連いしかわ』年 2 回発行

## 愛知県公民館連合会

### 所在地

〒 460-8534 名古屋市中区三の丸 3-1-2  
愛知県教育委員会生涯学習課内  
TEL (052) 954-6780 FAX (052) 954-6962  
E-mail : syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp  
会 長 高松 透  
副 会 長 平松 聖恵 加藤 裕一  
岸本 等志 原田 敬章  
事 務 局 長 今井 智樹  
事 務 局 員 山本 宗雄

### 概 要

- 1 発足年月日 昭和 32 年 8 月 1 日
- 2 予算総額 1,591,771 円
- 3 県内公民館数 335 館
- 4 特色ある事業
  - ① 愛知県公民館連合会表彰  
(公民館・公民館職員・公民館関係者)
  - ② 地区別研修会の開催 (4 支部)
  - ③ 研究公民館委嘱  
(各支部 1 館に委嘱、地区別研修会で発表)
  - ④ 公民館と学校の連携構築補助事業  
(4 公民館にて実施)
  - ⑤ 公民館主事等社会教育担当者研修会  
(年 5 日開催)
  - ⑥ 愛知県社会教育委員連絡協議会との合同研修会の実施
  - ⑦ 広報誌の発行

## 福井県公民館連合会

### 所在地

〒918-8135 福井市下六条町 14-1  
福井県生活学習館内  
TEL (0776) 41-4077 FAX (0776) 41-4077  
E-mail : f-kouren@kore.mitene.or.jp  
会 長 中村 准  
副 会 長 堀江 俊子 北畑 孝一  
野田 博幸 池上 博  
事務局 長 大久保容子  
事務局 員 福井 真紀

### 概 要

- 1 発足年月日 昭和 25 年 5 月 1 日
- 2 予算総額 6,170,000 円
- 3 県内公民館数 203 館
- 4 特色ある事業
  - ① 福井県公民館セミナー  
〔前期〕動画配信による研修等  
〔後期〕会場参加型研修
  - ② 広報紙コンクール  
A コース (紙面が6 ページ以上)  
B コース (6 ページ未満)
  - ③ 福井県公民館大会  
福井県公民館連合会表彰  
広報紙コンクール入賞館表彰
  - ④ 県公連広報紙「こうれんふくい」の発行  
(年 1 ~ 2 回)

## 富山県公民館連合会

### 所在地

〒930-0096 富山市船橋北町 7-1  
富山県教育文化会館内  
TEL (076) 444-5777 FAX (076) 444-5777  
E-mail : tomico7@iaa.itkeeper.ne.jp  
会 長 中西 彰  
副 会 長 中村 茂信 高井 清高  
大野 聡一 塚八 栄治  
岩坪智恵子  
事務局 長 本田 正則  
事務局 員 木本 聡子

### 概 要

- 1 発足年月日 昭和 26 年 1 月 30 日
- 2 予算総額 11,393,200 円
- 3 県内公民館数 322 館
- 4 特色ある事業
  - ① 公民館活動研究委嘱事業 (県内 5 館)
  - ② 公民館地域づくり研修会助成事業  
(12 市・郡)
  - ③ 公民館初任者研修会の開催
  - ④ 公民館長研修会、公民館主事・指導員等  
研修会の開催
  - ⑤ 優良自治公民館表彰、永年勤続職員表彰
  - ⑥ 県委託「はつらつ公民館学び支援事業」の  
実施
  - ⑦ 先進事例を学ぶ研修会の開催
  - ⑧ 県公連会報を年 3 回発行

## 東海北陸公民館大会のあゆみ [略年表]

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
昭和21年 (1946)		7.5 文部次官通牒「公民館の設置運営について」 11.3 日本国憲法公布
昭和22年 (1947)		3.31 教育基本法第7条(社会教育)に「公民館」が明記される。 4.17 地方自治法施行 5.3 日本国憲法施行
昭和23年 (1948)		7.15 教育委員会法施行 11.3 文部大臣全国優良公民館表彰(第1回)
昭和24年 (1949)		1. 「成人の日行事」について文部次官通達 6.10 社会教育法施行
昭和25年 (1950)		3. 第1回都市公民館大会(別府市) 4.30 図書館法施行
昭和26年 (1951)		11.30 国公民館連絡協議会(全公連)結成 12.1 博物館法施行
昭和27年 (1952)	4.14~16 第3回全国都市公民館大会(金沢市公会堂)	5.29~30 第1回全国公民館大会(福島市) 11.1 市町村に教育委員会が義務設置となる。
昭和28年 (1953)	5.20~22 社会教育法施行5周年記念第3回全国公民館大会(富山市公会堂:1,607名)	8.14 青年学級振興法施行 9.1 町村合併促進法施行
昭和29年 (1954)		2.16 社会教育審議会建議「社会教育施設の整備について」 5.20 全国優良公民館職員表彰制度ができる。(全公連)
昭和30年 (1955)		12. 全公連「公民館法」草案要綱をつくる。 「月刊公民館」創刊
昭和31年 (1956)		6.30 地方教育行政の組織及び運営に関する法律
昭和32年 (1957)		12.10 社会教育審議会答申「公民館の充実方策について」
昭和33年 (1958)		
昭和34年 (1959)	6.17~19 第1回東海3県公民館大会(津市) 第1回北陸3県公民館大会(富山市) 第8回全国公民館大会(小松市公会堂:2,300名)	12.28 文部省告示「公民館の設置及び運営に関する基準」
昭和35年 (1960)	第2回東海3県公民館大会(高山市) 第2回北陸3県公民館大会(鶴来町(石川))	9.14 全国の公民館マーク制定される。
昭和36年 (1961)	第3回東海3県公民館大会(一宮市) 第3回北陸3県公民館大会(敦賀市)	6.16 スポーツ振興法施行
昭和37年 (1962)	12.5~6 第4回東海3県公民館大会(津市) 第4回北陸3県公民館大会(富山市) 東海北陸6県の県公連会長・事務局長会議を開き、東海北陸公民館連絡協議会結成準備会を結成。(山中温泉(石川県))	2.21~23 第1回公民館職員研究集会(国立中央青年の家)
昭和38年 (1963)	10.8~9 東海北陸公民館連絡協議会発会式・第1回東海北陸公民館大会を開催(石川県婦人会館(金沢市):324名) 東海北陸公民館優良職員表彰を各県より2名の推薦を得て実施(以後毎年表彰)	2. 文部省「進展する社会と公民館の運営」刊行
昭和39年 (1964)	8.10~11 第2回東海北陸公民館大会(岐阜県町村会館:345名)	3.31 公民館振興国会議員懇談会が発足
昭和40年 (1965)	9.21~22 第3回東海北陸公民館大会(福井市公会堂:563名) 東海北陸公民館連合会と改称	2.18 「全国公民館連合会」社団法人として認可 11.16 公民館の歌、公民館音頭を発表
昭和41年 (1966)	8.23~24 第4回東海北陸公民館大会(名古屋市守山公会堂:555名)	6.27 全公連「公民館のあるべき姿と今日的指標」(中間報告)
昭和42年 (1967)	9.8~9 第5回東海北陸公民館大会(高岡市公民館:1,105名)	9.1 全公連「公民館のあるべき姿と今日的指標」公表

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
昭和43年 (1968)	9.20~21 第6回東海北陸公民館大会 (松阪市公会堂:491名)	6.15 文化庁設置 全国で「明治百年」記念行事催される。
昭和44年 (1969)	9.25~26 社会教育法施行20周年記念第7回東海北陸公民館大会(石川県社会教育センター、北陸放送会館:722名)	12.3 公民館振興市町村長連盟が発足
昭和45年 (1970)	8.10~11 第8回東海北陸公民館大会 (岐阜市民会館:669名)	5.18 全公連第二次専門委員会「都市化に対応する公民館」「公民館をめぐる諸制度改善の具体策」を報告
昭和46年 (1971)	8.27~28 第9回東海北陸公民館大会 (福井県民会館:785名) 10.13~15 第20回記念全国公民館大会 (金沢市観光会館:1,767名)	4.1 地方交付税に「公民館費」の節が設けられる。
昭和47年 (1972)	8.29~30 第10回東海北陸公民館大会 (名古屋中小企業センター:600名)	4.30 帝国地方行政学会「全国公民館名鑑」刊行
昭和48年 (1973)	7.10~11 第11回東海北陸公民館大会 (富山県民会館:1,042名)	
昭和49年 (1974)	7.22~23 社会教育法施行25周年記念第12回東海北陸公民館大会(伊勢市観光会館:651名) 例年の優良職員表彰の他に各県1名の功労者を記念表彰	6.10 この年はじめて文部大臣が優良公民館職員を表彰
昭和50年 (1975)	9.11~12 第13回東海北陸公民館大会 (石川県社会教育センター:620名) 10.16~17 第1回公民館振興市町村長連盟研修会 (鶴来町中央公民館(石川県):町村長205名)	7.31 社会教育審議会答申「市町村における社会教育指導者の充実強化の為の施策について」
昭和51年 (1976)	7.29~30 社会教育法施行30周年記念第14回東海北陸公民館大会(大垣市文化会館:645名)功労者記念表彰	11.25 皇太子・同妃両殿下をお迎えし、第25回全国公民館大会を国立教育会館で開催
昭和52年 (1977)	8.25~26 第15回東海北陸公民館大会 (武生市中央公民館:655名) 功労者を記念表彰	10.12~13 第26回全国公民館大会開催(新潟県民会館) 以後、政府予算編成期に東京で開催
昭和53年 (1978)	8.23~24 第16回東海北陸公民館大会 (名古屋市中小企業センター:680名)	10.23~24 第1回全国公民館研究集会開催(高松市ほか) 12.21 第25回全国公民館振興大会開催(赤坂プリンスホテル(東京)) 以後、毎年同会場で開催
昭和54年 (1979)	8.27~28 社会教育法施行30周年記念第17回東海北陸公民館大会(富山県民会館:918名) 11.13~14 第2回全国公民館研究集会 (岐阜市民会館:1,859名)功労者記念表彰	4.1 公民館建設費の国庫補助金が127億6千万円と最高額に達する。 5.1 公民館総合補償制度を採用
昭和55年 (1980)	8.26~27 第18回東海北陸公民館大会 (伊勢市観光文化会館:816名)	4.1 公民館の歌・公民館音頭(A面)、公民館式典用音楽(B面)のレコードできる。
昭和56年 (1981)	9.10~11 第19回東海北陸公民館大会 (石川県婦人生活会館:786名)	6.11 中央教育審議会答申「生涯教育について」
昭和57年 (1982)	8.31~9.1 第20回記念東海北陸公民館大会 (岐阜市民会館:883名)功労者記念表彰	2.10 「公民館のあるべき姿と今日的指標・総集版」を全公連から出版
昭和58年 (1983)	8.30~31 第21回東海北陸公民館大会 (敦賀市文化センター:924名)	5.23 全公連専門委員会への諮問「生涯学習時代に即応した公民館のあり方」中間報告
昭和59年 (1984)	8.30~31 第22回東海北陸公民館大会 (蒲郡市民会館:852名) 11.18~19 第7回全国公民館研究集会 (武生市文化センター:1,410名)	6.2 全公連専門委員会「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」答申 8.21 臨時教育審議会発足
昭和60年 (1985)	8.29~30 第23回東海北陸公民館大会 (富山県民会館:1,056名)	10.1 公民館職員対象「新総合医療保険・養老保険」制度採用
昭和61年 (1986)	8.28~29 第24回東海北陸公民館大会 (伊勢市観光会館:1,080名)	11 第1回国民文化祭開催(東京都)
昭和62年 (1987)	8.27~28 第25回記念東海北陸公民館大会 (金沢市観光文化会館:1,352名) 功労者記念表彰	7.1 全公連35年史刊行 8.7 臨時教育審議会最終答申

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
昭和63年 (1988)	9.1~2 第26回東海北陸公民館大会 (岐阜市民会館:1,178名)	7.1 文部省機構改革により社会教育局を廃し、「生涯学習局」発足
平成元年 (1989)	9.1~2 第27回東海北陸公民館大会 (富山県民会館:1,215名) 10.24~25 第14回全国公民館研究集会 (蒲郡市民会館:1,215名)	7.5 第14期中央教育審議会生涯学習専門委員会発足 11.26~27 第1回生涯学習フェスティバル(千葉:幕張メッセ)
平成2年 (1990)	8.30~31 第28回東海北陸公民館大会 (愛知文化講堂:1,388名)	6.30 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律(生涯学習振興法)
平成3年 (1991)	9.25~26 第29回東海北陸公民館大会 (福井市フェニックスプラザ:1,728名)	6.11 生涯学習審議会「公民館の整備・運営の在り方について」(中間報告)
平成4年 (1992)	9.3~4 第30回記念東海北陸公民館大会 (三重県阿児町アリーナ:1,329名) 功労者記念表彰	7.29 生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」
平成5年 (1993)	9.2~3 第31回東海北陸公民館大会 (七尾市サンライフプラザ:1,573名)	2.25 生涯学習審議会社会教育分科審議会報告「社会教育関係職員の資格制度の見直し等」
平成6年 (1994)	9.29~30 第32回東海北陸公民館大会 (岐阜市民会館:1,486名)	
平成7年 (1995)	11.28~29 第33回東海北陸公民館大会 (福井市フェニックスプラザ:1,864名)	
平成8年 (1996)	8.29~30 第34回東海北陸公民館大会 (愛知芸術文化センター:1,570名)	4.24 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方策について」
平成9年 (1997)	10.23~24 第35回記念東海北陸公民館大会を第20回全国公民館研究集会と併催 (富山市芸術文化ホール:2,128名) 功労者記念表彰	3.31 地方分権の推進のため公民館の施設整備費補助制度廃止される。
平成10年 (1998)	8.27~28 第36回東海北陸公民館大会 (三重県総合文化センター:1,414名)	8 特定非営利活動促進法(NPO法) 9 生涯学習審議会答申「社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」
平成11年 (1999)	8.26~27 社会教育法施行50周年記念第37回東海北陸公民館大会 (小松市公会堂(石川県):1,429名)	6.9 生涯学習審議会答申「生活体験・自然体験が日本の子どもの心を育む」 7.16 「地方分権の推進を図るための関係法律整備等に関する法律」公布(社会教育法等一部改正:平成12年4.1施行) 7.30 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI法)
平成12年 (2000)	8.24~25 第38回東海北陸公民館大会 (大垣市民会館・大垣市サイトピアセンター:1,502名)	4.14 家庭教育学習の拠点としての公民館の充実について
平成13年 (2001)	8.23~24 第39回東海北陸公民館大会(福井市フェニックスプラザ・福井市勤労婦人センター・福井県職員会館:1,860名)	1.6 IT基本法 1.25 文部科学省「21世紀教育新生プラン」 11.16 全国公民館連合会創立50周年記念大会
平成14年 (2002)	8.29~30 第40回東海北陸公民館大会 (稲沢市民会館・稲沢市勤労福祉会館・稲沢市総合文化センター:1,631名)	7.29 中央教育審議会答申「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」
平成15年 (2003)	10.16~17 第41回東海北陸公民館大会 第26回全国公民館研究集会 (三重県総合文化センター・アスト津・教育文化会館:2,088名)	3.20 中央教育審議会答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」 6.6 「公民館の設置及び運営に関する基準」告示
平成16年 (2004)	8.26~27 第42回東海北陸公民館大会 (富山県民会館・富山国際会議場他:1,649名)	3.29 中央教育審議会生涯学習分科会審議経過報告「今後の生涯学習の振興方策について」
平成17年 (2005)	9.1~2 第43回東海北陸公民館大会 (石川県立生涯学習センター・金沢市観光会館・金沢21世紀美術館他:1,395名)	7.1 文部科学省通知「社会教育施設等を活用した裁判員制度に係る教育・啓発活動の推進について」 9.27 文部科学省通知「地域における防犯教育・防犯活動及び防犯ボランティア活動の推進について」 10.24 文部科学省通知「地域における防災に係る教育・啓発活動の推進について」
平成18年 (2006)	8.24~25 第44回東海北陸公民館大会 (ライフポートとよはし・豊橋市役所・豊橋市民センター・豊橋市商工会議所他:1,336名)	12.22 教育基本法改正

年	東海北陸地区の主な動き	全国の主な動き
平成19年 (2007)	8.23~24 第45回東海北陸公民館大会 (福井市フェニックスプラザ・福井県国際交流会館・福井市中央公民館他:1,508名)	4.1 放課後子どもプラン開始
平成20年 (2008)	9.25~26 第46回東海北陸公民館大会 (長良川国際会議場・未来会館・岐阜県民文化ホール他:1,223名)	2.19 中央教育審議会答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」 6.11 社会教育法の一部を改正する法律公布・施行 学校支援地域本部事業(文部科学省)
平成21年 (2009)	※東海北陸公民館大会は休会	10.15~16 社会教育法制定60周年記念全国公民館研修大会開催(東京)
平成22年 (2010)	10.14~15 第47回東海北陸公民館大会 第32回全国公民館研究集会 (石川県立音楽堂・金沢市文化ホール・石川生涯学習センター他:1,270名)	4. 文部科学省実証研究委託「社会教育による地域の社会教育強化プロジェクト」 6. 閣議「新しい公共」宣言
平成23年 (2011)	10.13~14 第48回東海北陸公民館大会 (桑名市民会館・メディアライブ・桑名市中央公民館他:987名)	3.~3.11 東日本大震災で被災地公民館、社会教育団体等が避難・復旧復興活動に大きな役割を果たす。 8.20 公民館における災害対策特別研修会(東京)
平成24年 (2012)	9.6~7 第49回東海北陸公民館大会 (富山県民会館・富山国際会議場・北日本新聞ホール・高志会館他:1,536名)	4.1 全国公民館連合会、公益社団法人化
平成25年 (2013)	10.9~10 第50回東海北陸公民館大会 (半田市福祉文化会館・半田市民交流プラザ:1,210名)	4. 文部科学省新規事業「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」
平成26年 (2014)	10.9~10 第51回東海北陸公民館大会 (福井市フェニックスプラザ・福井県国際交流会館・福井市地域交流プラザ他:1,419名)	3. 優良公民館表彰が今年から最優秀館、優秀館を選定する方式変更。 第1回優秀館に福井市社北公民館が選ばれる。
平成27年 (2015)	9.10~11 第52回東海北陸公民館大会 (富山県民会館・富山市民プラザアンサンブルホール・北日本新聞ホール・いきいきKAN多目的ホール:1,474名)	4. 「学びによる地域活性化プログラム普及・啓発事業」開始
平成28年 (2016)	10.20~21 第38回全国公民館研究集会 第53回東海北陸公民館大会岐阜大会 (高山市 飛騨・生活文化センター:1,068名)	全国7ブロック公民館大会が全国公民館研究集会の冠を付しての開催となる。(7年に一度は首都圏開催)
平成29年 (2017)	3.31 三重県公民館連絡協議会 解散 10.19~20 第39回全国公民館研究集会 第54回東海北陸公民館大会石川大会 (金沢歌劇座・石川県文教会館他:1,241名)	4. 文部科学省社会教育課の「公民館振興係」が「連携推進係」に変更
平成30年 (2018)	※東海北陸公民館大会は休止	10.16 文部科学省組織再編で「総合教育政策局」を設置。あわせて「社会教育推進総括官」「地域学習推進課」「地域学習推進係」「地域振興係」が設置される。 11.1~2 第40回全国公民館研究集会東京大会 (会場:日本青年館)
令和元年 (2019)	10.17~18 第41回全国公民館研究集会 第55回東海北陸公民館大会愛知大会 (刈谷市総合文化センター・刈谷市産業振興センター)	4.1 新・放課後子どもプラン開始
令和2年 (2020)	※新型コロナウイルスの感染拡大により大会延期	4.16 全国に新型コロナウイルスで初の緊急事態宣言(~5.25) 公民館でも「新しい生活様式」を踏まえた利用が求められる。 5.14 「公民館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を公表(改訂履歴/R2.5.25、R2.10.2、R3.10.19、R4.6.9)
令和3年 (2021)	11.11~12 第43回全国公民館研究集会 第56回東海北陸公民館大会福井大会 (福井市フェニックスプラザ・ハピリン・福井県教育センター・福井県国際交流会館)	2.17 新型コロナウイルスワクチン接種開始
令和4年 (2022)	9.8~9 第44回全国公民館研究集会 第57回東海北陸公民館大会富山大会 (富山県民会館・パレプラン高志会館・サンシップとやま・北日本新聞ホール)	7.12 「全国事務局長会議」の実施

# 東海北陸公民館連合会表彰受賞者一覧

回	石川県	岐阜県	福井県	愛知県	富山県	三重県
第1回 昭和38年 (金沢市)	輪水 泉上 信浩 竜二	—	加藤新之助 今野義之助 藤野新之助	伊藤俊行 竹内京司 藤内兼太郎	松山富雄 土肥和雄 山田正一	寺本秀俊 和泉泉弘 本泉秀弘
第2回 昭和39年 (岐阜市)	大薮清隆 中田正雄	田中保繁 田中保繁	川田彰 高野新助	伊与田雄 鈴木兼太郎	大田栄太郎 上田正一	内藤寿雄 森和雄
第3回 昭和40年 (福井市)	森岡弥佐久 木越太美夫	栗山昭一 勅使河原憲一	吉村久枝 末政松伊	大洞健造 内山功	茂沢清済 長沢勝	村田かよ 山口守之
第4回 昭和41年 (名古屋市)	堀山下栄作 山下一作	服部俊三 岡本三篤	岩堀健彦 中島孝儀	山田鎌二郎 柿谷茂	四十物常二 河合外二	須尾藤正 尾崎勝正
第5回 昭和42年 (高岡市)	船田一雄 近岡和男	河瀬守男 樹神弘	加藤哲二 辻子富蔵	広浜武雄 鈴木類治	鶴居孫之函 今井博	水野輝雄 山口達雄
第6回 昭和43年 (松阪市)	後藤為次 東平正太	萩水仙助 佐藤三三	前沢忠左衛門 山本公慧	平松稔勝 酒井	石田吉雄 寺林古平	水川博善 市川川蔵
第7回 昭和44年 (金沢市)	喜田美由喜 山本盛賢	大村岩裕直 村井奥助	藤永実輝 川久保幸輝	伊藤留吉 岡安磯雄	高木橋源重 村辰雄	林本英房 覚裕
第8回 昭和45年 (岐阜市)	池田幸雄 源恒夫	宮田豊次 篠田清音	田中芳助 岩泉喜一	石原泰郎 冗下幸	南浜金作 保手弘一	小川進治 中尾八百
第9回 昭和46年 (福井市)	福田秀三 片山三尚	亀山喜一 肥田正雄	伊藤治志 小川豊太郎	稲垣福次郎 山本道三郎	九能里道守 能松義次	中林謙司 村次男
第10回 昭和47年 (名古屋市)	山岸善二 江尻太郎	間宮昇 渡辺三吉	酒井定次 岩崎徳夫	永井栄重 宮本秀吉	高田長一郎 佐野豊蔵	稲垣白洋 長松尚子
第11回 昭和48年 (富山市)	元谷信也 川端一治	川出繁 椿井隆信	永田金左衛門 松村きみ子	浅井啓吉 加藤泉	島津武男 高箱宗一	辻中隆次 井井幹
第12回 昭和49年 (伊勢市)	川中大二 桶功者正幸	日比屋秀一 林功者秀英	池田吉博 沢功者孝儀	神原幸平 吉功者木勝一	高山石宗義 山功者城俊雄	幹川治男 中功者葉浩
第13回 昭和50年 (金沢市)	清本文男 竹本三	岡崎義也 坪井次郎	芦原恵明 石丸正郎	藤井昌敏 中根治	松平源治 円治吉	奥山文一郎 中嶋文一郎
第14回 昭和51年 (大垣市)	池下照久 辻功者藤令久	根岸秀典 野功者井敏雄	前田三右衛門 向島正志	鶴飼繁雄 田功者村正直	辻渡源寛 功者田栄助	齊藤賢雄 西尾利佐衛門
第15回 昭和52年 (武生市)	西山久雄 清功者本松雄	藤村千文 伏功者部俊一	高島善兼衛門 竹内徳二	伊吹安太郎 岩功者本男	長井長左工門 日功者山大王	田畑佳子 川功者山良次郎
第16回 昭和53年 (名古屋市)	釜田弘 柏野美恵子	長谷部郎 中島春生	木村朝次 佐竹清兵衛	市川寂正 野村清助	宮野正夫 稻垣秀敏	松尾梅治 杉尾武臣
第17回 昭和54年 (富山市)	堀根内一時 功者田六之丞	渡辺重雄 大功者井敏	高三橋太蔵 功者永実	佐藤藤英 功者木孝雄	島水上正三 功者合近太郎	北早主計 功者南良文
第18回 昭和55年 (伊勢市)	泉口智子 西本久平	香川義昌 広江禎策	羽生文雄 納村一雄	武木健彦 羽田彦弘	岩城秀二 片岡作蔵	武田善悟 小川広巳
第19回 昭和56年 (金沢市)	和田正明 中桐一男	古家恒男 一色謙正	久津見守雄 五十嵐左右工門	峯神健彦 山本松次郎	折谷隆一 斉藤義夫	土井久雄 北村楠平

回	石川県			岐阜県			福井県			愛知県			富山県			三重県						
第20回 昭和57年 (岐阜市)	村街功太	山道孝平	覚志二	川日功葛	瀬比者西	実博	林門功川	脇者保	幸輝	慧隆	石小早川	川者田	圭誠一	式一松	杉扇功鎌	林一者谷	信堂又	義雄平	北辻功小	川者松	一保大	雄助演
第21回 昭和58年 (敦賀市)	桜西	井出	瑞俊彦	小宮	寺地祥	弘啓	中柴	村健之輔	田丸	熊加	谷藤	庄新	次吾	橋竹	本原	日道	尚則	加中	藤西	八郎	郎豊	
第22回 昭和59年 (蒲郡市)	東中	方尾新一	歩郎	市樋	岡口	清栄一喜	松中	田山正泰	道夫	稲吉	垣見昌	功則	齊内	藤島	成弘	正之	永長	野脇	甲子生	世知	生知	
第23回 昭和60年 (高山市)	若中	狭江	松寿治男	安福	田井	次藤三	錦織三郎	立工門基	佐々木	伊松	藤浦	富省三三	齊下	藤田	清淑	作光	草西	川脇	清英	一人	一人	
第24回 昭和61年 (伊勢市)	亀寺	田本良敏	一子	林鈴人	謙	吉充	神田	戸村秋栄	穂子	鈴市	木川英	寿夫	蟹麻	谷柄	宗信	信学	住宮	沢田	博和	文裕	文裕	
第25回 昭和62年 (金沢市)	榊能功盛	原波者田	桂義弘	高江功二	村尾者侯	覚秋成憲潔	大黒功千	道田和弘	嗣子雄	久佐功橋	野橋者本	時延晴夫	京中功川	免村者瀬	豊寿年美茂	鵜是功山	飼次者口	新文守	平夫之	守之	守之	
第26回 昭和63年 (岐阜市)	浜塩	浜	正章雄良	本高	田木	輝正明司	平堀	林長十郎	野郎	辻大	沢一和	郎夫	柴野	田村	吉利郎正	安岩	永崎	幸孝太郎	二	太郎	太郎	
第27回 平成元年 (富山市)	三東	谷平	正二大	野野	村田	龍正温治	増佐々木	利清博美	博美	山中	本野	信慶一一	館吉	盛井	貞直	信敏	山南	下野	健尊	次俊	次俊	
第28回 平成2年 (名古屋市)	中井	山田茂順	夫太郎	国竹	島中	五敏作子	奥前	原川正孔	子子	加市	藤井	恒滋夫男	大保	窪田	直道治雄	青房	木川	重忠	一郎	一郎	一郎	
第29回 平成3年 (福井市)	寺小	井寺	勇昭吉久	栗林	野克	博司	辻前	端芳枝	孝一	福国	岡村	惠正子	清塚	水本	亀喜作	城橋	内居	光徳	夫治	夫治	夫治	
第30回 平成4年 (阿児市)	岡喜功酒	田多者井	常幸正夫	森安功福	田者島	忠穂大典	六戸部水功伊	知喜守	士之守	岩中功八	田島者田	銃一一武	松井功中	向村者谷	定敏政	夫子治	前石功森	田田者	敏茂吉	治明男	治明男	
第31回 平成5年 (七尾市)	上稲	村田	一ソト郎子	小高	川井	文豊雄	藤久	田保	市豊郎子	加内	藤田	初綿江作	前坂	出井	正俊男夫	福田	井山	嘉壽	実彦	実彦	実彦	
第32回 平成6年 (岐阜市)	北定	川免	皓修三一	河竹	合中	二嘉喜彦	岡矢	嶋尾	雪たつえ	間大	瀬屋	順勲彦	山佐	本藤	正政光雄	長横	末山	吉江	夫江子	夫江子	夫江子	
第33回 平成7年 (福井市)	谷川	内岸	清昭三円	和永	田賢	弘雄	中小	村林	幸逸栄子	河寺	合部	美智市	嶋柴	崎田	直吉秀衛	分鈴	部木	一勝男	勝男	勝男	勝男	
第34回 平成8年 (名古屋市)	武武	田谷	長泰平子	渡杉	辺岡	文雄幸	福竹	島田	房法美英	鈴安	木井	美智子一	竹喜	山内	信忍男郎	望橋	月本	米達	子夫	子夫	子夫	
第35回 平成9年 (富山市)	古束功神	今田者田	哲淳一也修	安伸功川	田根者合	範昌和勝	松吉功山	本田者次郎	昭文左工門	南鈴成功高	谷木者孝	隆敏孝雄	加池功佐	藤田者藤	敏政夫実雄	一森功高	叱坂者橋	橋享	太郎司	太郎司	太郎司	
第36回 平成10年 (津市)	宮松	下下	貫一良	宮肥	川田	正昭俊男	中中	村嶋	義貴美江	祖父江片	山浩	登治	扇山	谷本	逸直郎子	奥市之木	卯三郎	信廣	信廣	信廣	信廣	
第37回 平成11年 (小松市)	大家	田都	榎一督一	日鶴	比飼	せ金一	三反崎	崎本	樹三郎美	後安	藤形	一弘男	山新	藤明	忠公雄子	下森	川幸	一義	一義	一義	一義	
第38回 平成12年 (大垣市)	谷内江	垣賢	昇雄	小篠	林田	七三子豊	北経	川塚	はる子雄	上中	田山	博久一郎	広福	田弘	一義男	蘭佐	部野	久望	望夫	望夫	望夫	
第39回 平成13年 (福井市)	南原	田惠美子	洋子	西大	脇島	文浪夫恵	山栗	下山	よし枝子	竹神	内谷	和也代	榊冲	田寛	保昭治	寺高	本田	喜峰	晴昭	晴昭	晴昭	

回	石川県	岐阜県	福井県	愛知県	富山県	三重県
第40回 平成14年 (稲沢市)	小春 寺木 昭久 松原 ヲ勝 ツユ子	川合 孝 一 井戸 下 貢 辻 昭	佐藤 藤 枝 伊与 智 江 岩木 弥 子 孝 惠	吉田 直 子 鈴木 武 一 川 晋 一	奥平 正 黒部 恒 近藤 國 利	野田 俊 彦 杉谷 本 一 竹 孝 勝 本 行 美
第41回 平成15年 (津市)	杉森 繁 松本 清 隆	渡辺 曩 林 直 光	小川 義 典 道正 志 津 子	毛利 政 信 大坪 節 雄	辻井 浅 信 西本 久 美 子	屋敷 孝 行 上垣 孝 勇
第42回 平成16年 (富山市)	東木 武 彦 腰 広 子	水谷 圭 三 森 務 隆	大久保 佐 智 菱川 惠 子	榊原 一 正 稲垣 夫 夫	村上 上 希 口 子 代 子	生駒 忠 司
第43回 平成17年 (金沢市)	池村 清 孝 市川 義 夫	船戸 鉄 夫 佐古 昭 二	増田 文 子 高 昂 彰	伊藤 立 静 夏目 夫 夫	大納 久 登 松本 久 介	前田 徳 吉
第44回 平成18年 (豊橋市)	元村 善 輝 勝木 輝 男	不破 利 兼 内 堀 實 貴	山田 博 子 窪 田 美 子	石田 康 弘 篠原 眞 弓	倉田 義 夫 西岡 良 則	内田 孝 也 杉本 達 也
第45回 平成19年 (福井市)	出島 啓 雄 中出 義 男	加藤 隆 一 三田村 智	野路 恵 子 吉本 祐 子	森 浩 通 鈴木 浩 治	竹中 幸 作 内橋 政 雄	野呂 秀 子 東 健 二
第46回 平成20年 (岐阜市)	西田 愛 子 魚野 孝 次 郎	土井 文 子 河 村 千 惠 子	吉田 晴 美 山 口 郁 惠	山 房 江 田 房 江	穴田 玲 子 稲谷 久 雄	木村 宜 裕 澤 田 美 裕 子
平成21年	越田 富 滋 安 田 信 夫	増田 勝 治 竹 腰 哲 夫	川端 由 美 福岡 和 惠 子	吉安 川 優 井 広 一	山丸 吉 弘 口山 稔 稔	増田 晋 作 山 門 和 美
第47回 平成22年 (金沢市)	駒井 信 一 三引 善 晴	杉山 周 三 鶴 飼 さ ち 子	重野 けいこ 井上 美 八 子	村橋 善 治 岩崎 勝 治	吉野 一 夫 藤沢 律 子	東海 やすこ 伊藤 藤 勝
第48回 平成23年 (桑名市)	金田 洋 赤石 一 喜	小野 浩 一 堀 文 男	坂上 泰 学 岡田 美 由 紀	山田 重 夫 森川 昌 樹	岡本 孝 平 田村 美 津 子	佐野 智 子 上垣内 守 雄
第49回 平成24年 (富山市)	出口 久 一 田多野 和 彦	大岡 明 臣 稲 葉 勇	荻野 清 子 森 陽 子	飯盛 静 男 佐藤 祐 子	山平 内 幸 典 下 幸 典	神中 園 敏 川 文 昭 敏 博
第50回 平成25年 (半田市)	楠堂 孝 司 新橋 孝 孝	廣瀬 桂 司 浦 田 伸 司	福嶋 幸 代 仲 保 則 子	青木 康 廣 鈴 木 由 美 子	嘉藤 隆 幸 久世 よし 子	川北 智 子 米 田 晴 生
第51回 平成26年 (福井市)	余助 幸 一 畑 下 勲	奈良 洋 美 北 嶋 眞 弓	宮永 圭 子 中 村 喜 美 惠	都築 のり子 高野 悦 子	荻野 康 子 高井 清 高	高橋 庄 子 児 玉 泰 清
第52回 平成27年 (富山市)	山本 進 新谷 美 栄 子	芳田 眞 井 森 本 節 子	杉本 典 子 直 江 利 惠 子	茂 田 昇	山本 武 夫 長 田 弘 子	古市 仁 草 川 あ や こ
第53回 平成28年 (高山市)	山岸 ひろみ 田保 勝 男	大野 裕 美 古 池 孝 文	水元 賢 治 浅 井 眞 由 美	山田 茂 義 石 原 由 美 子	清原 茂 夫 澤 村 眞 由 美	松隅 昭 寿 長 尾 信 一 郎
第54回 平成29年 (金沢市)	村守 俊 樹 佐々木 惠 子	田中 桂 造 梅 村 春 生	中村 美 沙 富 坂 妙 子	加藤 君 枝	島崎 昌 美 太 田 京 子	—
平成30年	※全国公民館研究集会在が首都圏開催だったため、表彰は行われず。					
第55回 令和元年 (刈谷市)	細川 聰 南 寿 美 代	葛谷 とみ子 伊藤 好 一	塚谷 直 人 伊 與 ま ゆ み	橋本 利 和	川上 田 真 弓 田 一 夫	—
第56回 令和2年 (福井市)	高野 章 久 野 衛	大橋 和 義 小酒井 敬 乃	杉田 美 津 代 森 瀬 美 智 子	—	永北 田 晋 治 村 外 志 子	—
第56回 令和3年 (福井市)	高辻 聰 竹本 由 紀 子	山野 郁 恵 野 村 利 道	重森 俊 道 荒 木 幹 夫	野田 満 男	岡水 田 千 春 井 井 勤	—
第57回 令和4年 (富山市)	笠間 悟 定 免 敏 彦	馬場 美 緒 森 美 里	北島 喜 一 八 田 眞 澄	奥谷 し ま	馬曾 場 均 根 直 子	—

# 東海北陸地区の文部科学大臣表彰受賞公民館一覧

(令和4年3月現在)

## 昭和23年度

富山県東砺波郡福野町高瀬公民館  
石川県輪島市大屋公民館  
福井県勝山市勝山公民館

## 昭和24年度

石川県金沢市中央公民館  
福井県敦賀市中央公民館  
岐阜県益田郡金山町管田公民館  
愛知県碧南郡桜井町公民館  
三重県鈴鹿市庄野公民館

## 昭和25年度

石川県石川郡松任町石川公民館  
福井県三方郡公民館南部分館

## 昭和26年度

富山県東砺波郡城端町蓑谷地区公民館  
石川県小松市中央公民館  
愛知県犬山市立楽田公民館  
三重県一志郡一志町波瀬公民館

## 昭和27年度

富山県小矢部市中央公民館  
石川県石川郡鶴来町公民館  
岐阜県中津川市落合公民館  
愛知県丹羽郡大口町中央公民館  
三重県度会郡御蘭村公民館

## 昭和28年度

富山県東砺波郡城端町公民館  
石川県金沢市瓢箪町公民館  
岐阜県不破郡垂井町公民館  
愛知県額田郡幸田町中央公民館  
三重県尾鷲市中央公民館

## 昭和29年度

富山県下新川郡入善町中央公民館  
石川県石川郡野々市町富奥公民館  
三重県阿山郡大山田村阿波公民館

## 昭和30年度

富山県上新川郡大沢野町公民館  
石川県加賀市大聖寺公民館  
岐阜県中津川市中津公民館  
三重県一志郡美杉村公民館

## 昭和31年度

富山県黒部市中央公民館  
石川県河北郡津幡町中央公民館  
福井県大野市大野公民館  
岐阜県加茂郡八百津町和知公民館

愛知県瀬戸市中央公民館

## 昭和32年度

石川県石川郡松任町御手洗公民館  
三重県三重郡川越町公民館

## 昭和33年度

石川県石川郡鳥越村公民館

## 昭和34年度

石川県能美郡寺井町公民館

## 昭和35年度

なし

## 昭和36年度

石川県石川郡松任町山島公民館  
三重県上野市公民館

## 昭和37年度

愛知県名古屋市立守山公民館

## 昭和38年度

なし

## 昭和39年度

なし

## 昭和40年度

なし

## 昭和41年度

岐阜県中津川市落合公民館  
愛知県知多郡大府町公民館

## 昭和42年度

愛知県蒲郡市立府相公民館  
三重県尾鷲市中央公民館

## 昭和43年度

石川県鹿島郡鳥屋町公民館

## 昭和44年度

石川県金沢市芳斉公民館  
三重県津市中央公民館

## 昭和45年度

福井県勝山市遅羽公民館

## 昭和46年度

石川県鹿島郡中島町公民館  
福井県大野市富田公民館

岐阜県恵那郡山岡町公民館

#### 昭和 47 年度

石川県鹿島郡鹿西町公民館  
岐阜県不破郡垂井町公民館

#### 昭和 48 年度

石川県河北郡七塚町公民館  
福井県丹生郡朝日町中央公民館  
愛知県東海市上野公民館  
三重県名張市公民館

#### 昭和 49 年度

石川県能美郡根上町公民館  
福井県武生市中央公民館  
岐阜県高山市公民館  
愛知県西加茂郡三好町中央公民館

#### 昭和 50 年度

石川県石川郡鶴来中央公民館  
福井県坂井郡三国町中央公民館

#### 昭和 51 年度

石川県河北郡宇ノ気町中央公民館  
福井県鯖江市鯖江公民館  
岐阜県羽島郡笠松町公民館

#### 昭和 52 年度

石川県羽咋郡富来町中央公民館  
福井県福井市順化公民館

#### 昭和 53 年度

石川県石川郡野々市町中央公民館  
岐阜県羽島郡川島町公民館

#### 昭和 54 年度

石川県河北郡内灘町内灘中央公民館  
愛知県知多市立八幡公民館  
三重県桑名郡長島町公民館

#### 昭和 55 年度

石川県羽咋市立羽咋公民館  
福井県坂井郡三国町雄島公民館  
岐阜県山県郡高富町中央公民館

#### 昭和 56 年度

石川県羽咋郡志賀町中央公民館  
岐阜県養老郡養老町中央公民館

#### 昭和 57 年度

石川県穴水町立穴水公民館  
岐阜県揖斐川町中央公民館  
愛知県春日井市立知多公民館

#### 昭和 58 年度

富山県高岡市立中央公民館  
石川県松任市中央公民館  
岐阜県岐南町中央公民館  
愛知県東海市立文化センター

#### 昭和 59 年度

石川県金沢市城南公民館  
福井県春江町公民館  
岐阜県柳津町中央公民館

#### 昭和 60 年度

石川県七尾市徳田公民館  
福井県敦賀市中央公民館  
岐阜県神戸町中央公民館  
愛知県飛島村中央公民館

#### 昭和 61 年度

富山県高岡市立西部公民館  
石川県珠洲市立中央公民館  
福井県三国町新保公民館  
岐阜県池田町中央公民館  
愛知県岩倉市公民館

#### 昭和 62 年度

石川県押水町中央公民館  
福井県福井市社南公民館  
岐阜県中津川市中津川公民館  
愛知県安城市中央公民館  
三重県楠町中央公民館

#### 昭和 63 年度

石川県美川町中央公民館  
福井県金津町中央公民館  
岐阜県伊自良村中央公民館  
愛知県常滑市立南陵公民館  
三重県阿山町公民館

#### 平成元年度

富山県富山市立豊田公民館  
福井県松岡町松岡中央公民館  
岐阜県真正町中央公民館  
愛知県扶桑町中央公民館  
愛知県小坂井町中央公民館  
三重県河芸町中央公民館

#### 平成 2 年度

富山県小杉町立太閤山中部公民館  
石川県七尾市矢田郷公民館  
福井県織田町中央公民館  
岐阜県瑞浪市中央公民館  
愛知県蟹江町中央公民館

### 平成 3 年度

富山県富山市立岩瀬公民館  
福井県福井市中藤島公民館  
岐阜県笠原町中央公民館  
愛知県大府市大府公民館

### 平成 4 年度

石川県津幡町中篠公民館  
福井県福井市旭公民館  
岐阜県安八町中央公民館

### 平成 5 年度

石川県小松市立稚松公民館  
福井県福井市東藤島公民館  
岐阜県美濃市中央公民館  
愛知県安城市桜井公民館

### 平成 6 年度

富山県魚津市本江公民館  
石川県金沢市額公民館  
福井県武生市国高公民館  
岐阜県可見市今渡公民館  
愛知県犬山市南部公民館  
三重県名張市桔梗が丘公民館

### 平成 7 年度

富山県高岡市立野村公民館  
石川県輪島市立野町公民館  
岐阜県神岡町中央公民館  
三重県二見町公民館

### 平成 8 年度

富山県婦中町中央公民館  
愛知県常滑市立南陵公民館  
石川県松任市山島公民館  
岐阜県中津川市苗木公民館  
愛知県藤岡町中央公民館  
三重県多気町中央公民館

### 平成 9 年度

富山県福光町立福光公民館  
石川県金沢市菊川町公民館  
岐阜県羽島市立中央公民館  
愛知県尾西市南部公民館

### 平成 10 年度

富山県高岡市立東部公民館  
石川県能都町立宇出津公民館  
岐阜県海津町海津公民館  
愛知県安城市北部公民館  
三重県久居市立中央公民館

### 平成 11 年度

富山県富山市立上条公民館  
石川県珠洲市立直公民館  
岐阜県関市中央公民館  
愛知県瀬戸市救範公民館  
三重県亀山市立中央公民館

### 平成 12 年度

富山県小杉町立三ヶ公民館  
石川県松任市立宮保公民館  
岐阜県美濃加茂市中央公民館  
愛知県新城市西部公民館

### 平成 13 年度

富山県富山市立長岡公民館  
石川県珠洲市立飯田公民館  
福井県福井市東安居公民館  
岐阜県宮村中央公民館  
岐阜県穂積町中央公民館  
愛知県七宝町中央公民館

### 平成 14 年度

富山県砺波市立林公民館  
石川県七尾市石崎公民館  
福井県大野市下庄公民館  
岐阜県恵那市中央公民館  
岐阜県安八町中央公民館  
愛知県安城市南部公民館

### 平成 15 年度

富山県福岡町立大滝公民館  
石川県輪島市立輪島公民館  
福井県福井市東郷公民館  
福井県三国町中央公民館  
岐阜県八幡町中央公民館  
岐阜県可見市下恵土公民館  
愛知県豊田市生涯学習センター松平交流館  
愛知県知多市中部公民館

### 平成 16 年度

富山県宇奈月町中央公民館  
富山県小矢部市立北蟹谷公民館  
石川県穴水町立諸橋公民館  
福井県福井市啓蒙公民館  
岐阜県各務原市西生涯学習センター  
岐阜県飛騨市古川公民館  
愛知県江南市立古知野北公民館  
愛知県足助町公民館

### 平成 17 年度

富山県高岡市立平米公民館  
石川県輪島市立河原田公民館

福井県福井市岡保公民館  
福井県越前市岡本公民館  
岐阜県多治見市立養正公民館  
岐阜県上石津町立公民館  
愛知県田原市野田市民館  
愛知県尾張旭市中央公民館  
三重県紀北町東長島公民館

#### 平成 18 年度

富山県富山市立保内公民館  
石川県金沢市西南部公民館  
石川県能登町立秋吉公民館  
福井県福井市春山公民館  
福井県小浜市加斗公民館  
岐阜県美濃市藍見公民館  
岐阜県御嵩町立伏見公民館  
愛知県稲沢市大里西公民館  
愛知県一色町公民館

#### 平成 19 年度

富山県高岡市立古府公民館  
富山県砺波市立太田公民館  
石川県能登町立不動寺公民館  
福井県福井市麻生津公民館  
福井県越前市味真野公民館  
岐阜県瑞穂市巢南公民館  
岐阜県多治見市市之倉公民館  
愛知県阿久比町立草木公民館  
愛知県豊川市御油公民館

#### 平成 20 年度

富山県上市町立南加積公民館  
石川県七尾市相馬公民館  
石川県白山市立加賀野公民館  
福井県大野市大野公民館  
福井県小浜市中名田公民館  
岐阜県多治見市南姫公民館  
岐阜県坂祝町中央公民館  
愛知県弥富市中央公民館  
愛知県碧南市新川公民館

#### 平成 21 年度

富山県魚津市下中島公民館  
石川県加賀市立動橋公民館  
石川県七尾市袖ヶ江公民館  
福井県福井市湊公民館  
福井県若狭町熊川公民館  
岐阜県郡上市川合公民館  
岐阜県多治見市旭ヶ丘公民館  
愛知県東郷町中央公民館  
愛知県蒲郡市大塚公民館

#### 平成 22 年度

富山県入善町立飯野公民館  
富山県小矢部市立藪波公民館  
石川県白山市立御手洗公民館  
石川県輪島市立鳳至公民館  
福井県美浜町中央公民館  
福井県越前市武生東公民館  
岐阜県恵那市明智公民館  
岐阜県関ヶ原町立関ヶ原中央公民館  
愛知県扶桑町中央公民館  
愛知県豊田市生涯学習センター若林交流館

#### 平成 23 年度

富山県魚津市大町公民館  
富山県南砺市高瀬西公民館  
石川県珠洲市立大谷公民館  
石川県加賀市立大聖寺公民館  
福井県福井市円山公民館  
福井県鯖江市立待公民館  
岐阜県恵那市岩村コミュニティセンター  
岐阜県郡上市相生公民館  
愛知県武豊町立中央公民館  
愛知県豊橋市東陽地区市民館

#### 平成 24 年度

富山県小矢部市立若林公民館  
富山市立五福公民館  
石川県金沢市大野町公民館  
石川県輪島市立西保公民館  
福井県福井市森田公民館  
福井県越前市神山公民館  
岐阜県可児市桜ヶ丘公民館  
岐阜県恵那市上矢作コミュニティセンター  
愛知県安城市西部公民館  
愛知県一宮市大和公民館

#### 平成 25 年度

富山県魚津市村木公民館  
富山県高岡市立牧野公民館  
石川県白山市立鶴来公民館  
石川県珠洲市立蛸島公民館  
福井県福井市社北公民館  
福井県鯖江市豊公民館  
岐阜県多治見市精華公民館  
岐阜県郡上市口明方公民館  
愛知県田原市衣笠市民館  
愛知県豊明市南部公民館

#### 平成 26 年度

富山県滑川市立加積地区公民館  
富山県高岡市立成美公民館  
石川県金沢市東浅川公民館

石川県輪島市立鶴巣公民館  
福井県小浜市今富公民館  
福井県越前市花筐公民館  
岐阜県瑞浪市稲津公民館  
岐阜県御嵩町御嵩公民館  
岐阜県多治見市学習館  
愛知県西尾市吉良町公民館  
愛知県あま市甚目寺公民館

#### 平成 27 年度

富山県立山町立新瀬戸公民館  
富山県氷見市窪公民館  
石川県七尾市高階公民館  
石川県加賀市立片山津公民館  
福井県福井市安居公民館  
福井県おおい町名田庄公民館  
岐阜県土岐市立鶴里公民館  
岐阜県郡上市立西和良公民館  
愛知県半田市立住吉公民館  
愛知県豊川市豊川公民館

#### 平成 28 年度

富山県上市町立柿沢公民館  
富山県砺波市立青島公民館  
石川県羽咋市立千里浜公民館  
石川県白山市立林中公民館  
福井県福井市和田公民館  
福井県越前市大虫公民館  
岐阜県郡上市白鳥地域公民館  
岐阜県恵那市中野方コミュニティセンター  
愛知県大口町中央公民館  
愛知県碧南市中部公民館

#### 平成 29 年度

富山県黒部市立下立公民館  
富山県砺波市立梅檀山公民館  
石川県津幡町刈安公民館  
石川県珠洲市立若山公民館  
福井県鯖江市北中山公民館  
福井県福井市木田公民館  
岐阜県郡上市明宝地区公民館  
愛知県蒲郡市形原公民館  
愛知県尾張旭市瑞鳳公民館

#### 平成 30 年度

富山県魚津市加積公民館  
富山県南砺市南山田公民館  
石川県白山市立湊公民館  
石川県能登町立三波公民館  
福井県越前市岡本公民館  
福井県福井市清水西公民館  
岐阜県瑞浪市釜戸公民館

岐阜県多治見市小泉公民館  
愛知県幸田町中央公民館  
愛知県愛西市佐織公民館

#### 令和元年度

富山県朝日町立大家庄公民館  
富山県射水市三ヶコミュニティセンター  
石川県金沢市瓢箪町公民館  
石川県加賀市立金明公民館  
石川県七尾市能登島地区コミュニティセンター  
福井県福井市酒生公民館  
福井県永平寺町永平寺公民館  
岐阜県多治見市脇之島公民館  
岐阜県瑞浪市日吉公民館  
岐阜県恵那市笠置コミュニティセンター  
愛知県大府市立北山公民館  
愛知県豊橋市本郷地区市民館

#### 令和 2 年度

富山県小矢部市立松沢公民館  
富山県黒部市立若栗公民館  
石川県白山市立吉野谷公民館  
石川県津幡町条南公民館  
福井県越前市南中山公民館  
福井県福井市清明公民館  
岐阜県瑞浪市陶公民館  
岐阜県美濃市洲原公民館  
岐阜県多治見市根本交流センター  
愛知県北名古屋市東公民館  
愛知県知立市中央公民館

#### 令和 3 年度

富山県滑川市滑川東地区公民館  
富山県砺波市立雄神公民館  
石川県金沢市鞍月公民館  
石川県輪島市立浦上公民館  
福井県高浜町立和田公民館  
福井県福井市河合公民館  
岐阜県瑞浪市大湫公民館  
愛知県田原市福江市民館  
愛知県常滑市南陵公民館

# 東海北陸公民館連合会 会則

---

## (名称組織)

**第1条** 本会は、東海北陸公民館連合会（以下「連合会」という）と称し、石川県、岐阜県、福井県、愛知県、富山県、三重県の公民館連合会（以下「県公連」という）を以て組織する。

## (事務所)

**第2条** 本連合会の事務所は、当番県の県公連事務所に置く。

## (目的)

**第3条** 本連合会は、東海北陸6県の公民館相互の連絡を密にし、公民館活動の振興発展をはかることを目的とする。

## (事業)

**第4条** 本連合会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 東海北陸公民館大会（全国公民館研究集会を兼ねる）の開催  
※ ただし、全国公民館研究集会が首都圏で開催される年度は、東海北陸公民館大会は開催しない。
- 2 研修会、講演会、協議会等の開催
- 3 資料及び情報の交換
- 4 その他目的達成のため必要な事業

## (役職員及び任期)

**第5条** 本連合会に役職員を置き、任期は1年とする。

会長 1名                      副会長 1名                      理事 若干名  
事務局長 1名                      幹事 若干名

## (役職員の選出及び任務)

**第6条** 役職員は理事会において選出し、任務は次のとおりとする。

会長は本連合会を代表し、会務を総理する。  
副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。  
理事は本連合会の会務を審議し、その運営に参画する。  
事務局長は本連合会の事務を処理する。  
幹事は本連合会の会務に参与する。

## (理事会)

**第7条** 理事会は、県公連から選出された理事によって構成し、毎年当番県において定例理事会を開く。ただし、必要に応じ臨時理事会を開くことができる。

理事会は会長が招集し、これを司会する。  
理事会は定数の過半数の出席で成立し、議決は出席者の過半数による。  
幹事は理事会に出席する。

## (経費及び会計年度)

**第8条** 本連合会の経費は、毎年度予算の定めるところによる。

本連合会の年度は、4月1日に始まり翌年3月31日で終わることを原則とする。

## (会則の変更)

**第9条** 本会則の改正は、理事会の議決を得なければならない。

## (附則)

- 1 本会則でいう当番県とは、本連合会長の所属県とし、毎年交替制とする。
- 2 本会則は昭和37年12月5日から施行する。
- 3 本会則は、平成25年11月18日の臨時理事会にて承認、即日施行する。
- 4 本会則は、平成28年2月9日の理事会にて一部改正し、即日施行する。

## [東海北陸公民館大会開催県順の申合せ]

富山県→岐阜県→石川県→福井県→愛知県

# 公民館の歌 (自由の朝)

山口 晋一 作詞

下総 皖一 作曲

快活に ♩ =104



1. へ い わ の は る に あ た ら し く  
 2. こ こ ろ の は な の に お や か に  
 3. は た ら く も の の や す ら か に



きょう ど を お こ ら す よ ろ こ し び さ も (こ) み ん か ん の  
 きょう ど に ひ き る た の し さ も (こ) み ん か ん の  
 きょう ど に ひ き る た の し さ も (こ) み ん か ん の



つ ど い か ら と き け あ う こ こ ろ な う ご や か し  
 つ ど い か ら と き け あ う こ こ ろ な う ご や か し  
 つ ど い か ら と き け あ う こ こ ろ な う ご や か し



に じ ゅ う の あ い さ を た た え と よ う  
 に じ ゅ う の あ い さ を た た え と よ う  
 に じ ゅ う の あ い さ を た た え と よ う

## 公民館の歌 (自由の朝)

山口 晋一 作詞  
 下総 皖一 作曲

- 一、平和の春に あたらしく  
 郷土を興す よろこびも  
 公民館の つどいから  
 とけあう心 なごやかに  
 自由の朝を たたえよう
- 二、心の花の におやかに  
 郷土にひらく ゆかしさも  
 公民館の つどいから  
 希望を胸に 美しい  
 文化の泉 くみとろう
- 三、働くものの 安らかに  
 郷土に生きる たのしさも  
 公民館の つどいから  
 まどいになごむ ひとときに  
 明日への力 そだてよう

第44回全国公民館研究集会  
第57回東海北陸公民館大会富山大会  
第16回富山県公民館大会

## 大会資料

---

令和4年9月8日 発行

発行者／第57回東海北陸公民館大会  
富山大会実行委員会

富山県公民館連合会事務局内  
〒930-0096 富山市舟橋北町7-1  
富山県教育文化会館内  
TEL/FAX 076-444-5777



2022年度 (2022年5月1日午後4時～2023年5月1日午後4時)

# 公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また公民館に準ずるものとして全公連が加入を認めたその他の施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

## 3つの補償で公民館活動をサポート

### 1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

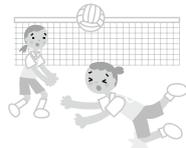
#### 保険

- 公民館行事参加者のケガを補償
- 公民館利用者のケガを補償
- 行事往復途上のケガを補償
- 行事の事前練習や事前準備、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

#### 見舞金制度

- 疾病や特定傷害に、疾病死亡弔慰金、疾病入院見舞金をお支払いします。
- 特定災害による損害に、特定災害見舞金をお支払いします。

#### 【補償例】



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

### 2. 賠償責任補償

【賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約)】

#### 保険

- 公民館の施設・設備等\*の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館が法律上の賠償責任を負担しなければならない場合に補償

※公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

\*施設にある昇降機(エレベーター、エスカレーター)の所有、使用、管理に起因する賠償責任も含まれます。

#### 【補償例】



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

### 3. 職員災害補償

【普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約)+見舞金制度】

#### 保険

- 公民館事業や業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

#### 見舞金制度

- 公民館事業や業務に携わる方の病気や特定傷害、業務外のケガ、業務中の地震によるケガに死亡弔慰金や入院見舞金をお支払いします。

#### 【補償例】



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

## 公民館総合補償制度の特長

### (1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する『見舞金制度』に『保険』を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

#### ★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊を伴う行事も対象です。

### (2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要です。うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

### (3) 掛金の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償制度掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償の保険料には、団体割引25%、過去の損害率による割引10%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『2022年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

■引受保険会社  
**損害保険ジャパン株式会社**  
 営業開発部第三課  
 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
 TEL 03-3349-3820 FAX 03-6388-0157  
 (受付時間: 平日9:00～17:00)

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)  
**エコー総合補償サービス株式会社**  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9  
**TEL: 0120-636-717**(通話料無料)  
**FAX: 0120-226-916**(通話料無料)



第44回 全国公民館研究集会  
第57回 東海北陸公民館大会  
富山大会  
第16回 富山県公民館大会